

The logo for TIA News! features a stylized blue and green globe icon on the left, followed by the letters 'TIA' in a bold, blue, sans-serif font, and the word 'News!' in a larger, blue, italicized sans-serif font.

30周年記念特別号

2023.02.Vol.93



30<sup>th</sup>

YEARS

1992 - 2022

ANNIVERSARY

自然由来のミネラルで、  
イキイキした毎日を応援。



海洋  
ミネラル  
深層水

miu



こころとからだに、  
おいしいものを。

**DyDo**

※この商品のミネラルとは、ナトリウムのことです。ミウ おいしい水、ミウ レモン&オレンジは、純水に室戸海洋深層水由来の成分を添加しています。  
ミウ スポーツアップは、海洋深層水の原水を4%使用しています。

※自然由来のミネラルとは、高知県室戸沖の海のミネラルです。

ダイドードリンク株式会社 

# JTIA News! 30周年記念特別号

## 目次

■ご挨拶	
公益社団法人日本テニス事業協会 会長 大久保 清一	2
■祝辞	
公益社団法人日本テニス事業協会 顧問 石原 伸晃	3
公益社団法人日本テニス事業協会 顧問 衆議院議員 小野寺 五典	4
公益財団法人日本テニス協会 会長 山西 健一郎	5
公益社団法人日本プロテニス協会 理事長 藤沼 敏則	6
日本女子テニス連盟 会長 武正 八重子	7
テニス用品会 会長 米山 勉	8
■設立時回顧 一番印象に残る思い出	9
■日本テニス事業協会 30年の歩み	11
■特別寄稿	
公益財団法人日本テニス協会 強化育成本部長 土橋 登志久	32
公益財団法人日本テニス協会 常務理事 慶應義塾大学 准教授 坂井 利彰	34
公益財団法人日本テニス協会 普及推進本部 副本部長 山梨学院短期大学 准教授 今井 茂樹	36
学校法人五大(GODAIグループ) 経営企画部 満岡 英生	39
■特集 テニス事業における新しいサービス	43
■公益社団法人日本テニス事業協会の活動紹介/ テニス・トリプルス	
公益社団法人日本テニス事業協会 スクール部会部会長 蒲生 清	47
公益財団法人吉田記念テニス研修センター シニアアドバイザー 斎田 憲男	48
公益財団法人吉田記念テニス研修センター サービス事業マネージャー 碓谷 隆人	49
■30周年記念 賛助会員表彰	58
■公益社団法人日本テニス事業協会 第16期 役員名簿	60

おかげさまで30周年!



公益社団法人日本テニス事業協会  
JAPAN TENNIS INDUSTRY ASSOCIATION



公益社団法人日本テニス事業協会  
会長 大久保 清一

日本テニス事業協会は平成4年通商産業省（現経済産業省）に認可され社団法人として発足し、その後平成24年に内閣府の認定を受け公益社団法人となり、今年で協会設立30年を迎える事となりました。

設立以来会員の皆様はもとよりご協賛をいただいております各社並びに関係各位の皆様には日頃よりのご指導ご鞭撻に心より感謝申し上げます。

この間、私共テニス事業者はテニスの普及、及びその結果としてのテニス事業の発展を目的とし、会員事業所並びにその従業員皆様等のご協力をいただき様々な事業に取り組んでまいりました。近年では会員数も増加傾向に有り事業所数も520程になっておりますが、これからもさらなる努力をし皆様の生活の中にしっかり根を張り協会の理念でもあります「国民生活の向上に寄与する」べく活動してまいります。

日本にテニス伝わり150年程になり、オリンピックで日本最初のメダルを獲得してから100年を超え、日本テニス協会は100年、プロテニス協会は50年を迎えております。私ども協会も社団法人となってから今年で30年となり今回このように記念セミナーを開催させていただいておりますが、それ以前より先輩方が事業としてのテニスに取り組まれ今日を迎えております。当協会

の会員事業者の中にも50年、40年を迎える事業者の数も相当数に上ります。これまでの諸先輩の事業者の歩みの延長に今日の私どもが存在する事を念頭に協会を支えてきてくださった皆様に厚く感謝申し上げます。

協会の活動として大きく3事業があります。

第1に人材育成事業です。どの事業でもそうですが人が基本であります。人をしっかり育成できて初めてテニス事業の基礎が出来ます。テニス事業はサービス産業であり健康産業であり、或る一面では教育産業でもあります。この事を念頭にテニスプロデューサー資格制度をはじめとする各種のセミナー、研究会、勉強会等を開催し人材育成に今後も力を入れてまいります。

第2は普及事業です。どの事業でもお客様あって初めて事業として成り立ちます。テニス界全体の発展にも、もちろんテニス事業の発展にも普及活動無くしては始まりません。多くのテニス愛好者の皆様あって初めて事業として成立しています。現在テニス各団体「公益財団法人日本テニス協会」「公益社団法人日本プロテニス協会」「日本女子テニス連盟」「テニス用品会」の各協会等の皆様と定期的に会合をもちテニス界の普及発展に努力しております。今後もこの様なテニス界全体の活動、及び各事業者の努力を推進しテニスの普及を進めてまいります。

第3はサポート事業です。多くのテニス事業者が事業開始から50年前後を経ており、その間、バブル時代、その後のバブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、そして近年3年以上にわたり皆様の生活に多大な影響を与えておりますコロナ問題等と目まぐるしく変動しております。このような環境の中を時代に合わせテニス事業を発展させるべく出来る限りのサポートをして参りました。また、事業継承の問題も大きな課題となっておりますスムースなテニス事業継続の為のサポートも充実してまいります。

これからの10年後、20年後に向けて健康で豊かな社会作りに貢献しつつ、テニス事業をさらに伸展させ、関係者ならびに関係諸団体の皆様と力をあわせテニス界の発展に寄与し続ける事を約束し、ご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本テニス事業協会 顧問  
石原 伸晃

この度は、公益社団法人日本テニス事業協会が、協会設立 30 周年を迎えられましたこと心よりお喜び申し上げます。

併せて、貴協会の活動にご尽力されている関係各位の方々に、心より敬意を表します。

設立 20 年の際にも、祝辞を寄稿させて頂きましたが、その時から 10 年で大きく変わったのは 2020 年に起こったコロナウイルスの世界的なパンデミックであろうかと存じます。

これまでの当たり前が覆され、テニス事業を行う会員の皆様方も運営するにあたって大きな影響を及ぼし、大変なご苦労があったと推察します。

現在は感染症対策のガイドラインを作成し、従業員、利用者の健康に十分に配慮され事業を継続されているとお聞きしております。

今年で 3 年目となりますが、ようやくコロナ禍の長い暗いトンネルから抜け出し、「新しい生活様式」の中でスタートできるのではないかと考えております。

貴協会はテニスの普及が一番の目的であり、「有明の森スポーツフェスタ」、「テニスの日」、3 人制テニス「トリプルス」など多くの普及活動が行われております。これらの魅力ある活動はテニス業界の発展に必要なだと確信しております。

テニスは子供から高齢者まで年齢を問わず行える生涯スポーツです。協会が唱える「テニスをする 10 の理由」にもあるように、心身ともに良い影響を与えるとされています。

昨年の東京オリンピックでも、錦織圭選手、大坂なおみ選手が奮闘し、パラリンピックでは国枝慎吾選手が金メダルを獲得したことも記憶に新しいところです。

スポーツは子どもに夢や希望を与えます。3 人のようなスーパープレイヤーになりたいと子供たちは願い、努力を重ね、自身がまたスーパープレイヤーになり、次代に受け継いでいく。そういった好循環が生まれることでテニス業界も繁栄するのではないかと存じます。

また、高齢者の観点においても重要です。私の地元、東京の杉並でテニスクラブを運営している人生の大先輩は現在、94 歳でありながら、毎朝、欠かさずコートに出向き、掃除をしております。この元気の源もテニスを通して培われたものだと思います。

テニスを通して私も皆様と共に日本を活性化するため、精一杯頑張ってお参ります。

最後になりますが、大久保清一会長を始めとする役員、会員の皆様のご健勝と貴協会の益々のご発展を心よりご祈念申し上げ、石原伸晃の挨拶とさせていただきます。



公益社団法人日本テニス事業協会 顧問  
衆議院議員 小野寺 五典

公益社団法人日本テニス事業協会設立 30 周年、誠におめでとうございます。

この慶びの節目を迎えられましたことは、歴代の会長をはじめ関係各位の粉骨砕身のご努力の賜と敬意を表し感謝申し上げます。

貴協会は、平成 4 年にテニス事業の健全な発展を図り、もって国民生活の向上に寄与することという理念のもとに設立され、大会の開催、勉強会・情報交換会等の実施により、日本におけるテニスの発展に多大なる貢献をされて参りました。

11 年前、未曾有の東日本大震災発災後、被災地ではテニスだけでなく様々なスポーツ活動が躊躇われたこともありましたが、会員皆様方をはじめ全国からの温かい激励やご支援もあり、復興支援・親睦テニス大会等が開催され、徐々に活動が再開、前向きにあらたな一歩を踏み出すことができました。被災者の一人としてあらためまして御礼申し上げます。

私も、テニスに汗することを無常の楽しみとしている一人として、日頃より時間を見つけて

はプレーに励み、また、宮城県テニス協会会長、東北車いすテニス協会会長を努めさせていただき、国政の場においても、テニス推進議員連盟の会長として、テニスの普及、発展に尽力しております。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会・イベントが中止や延期を余儀なくされ、現在も多くのスポーツに関する活動が影響を受けております。こうした中ではございますが、新しい生活様式の下、感染防止対策を踏まえながら、貴協会の皆様方と力を合わせて、日本のテニス界の発展に取り組ませていただきたいと存じますので、これからもテニスの発展に貢献されますことをご期待いたします。

最後に、設立より 30 年間、貴協会、テニス界の発展にご尽力された関係各位に重ねて敬意を表しますとともに、衷心より感謝を申し上げ、更なる飛躍と、大久保清一会長をはじめ会員皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



公益財団法人日本テニス協会  
会長 山西 健一郎

公益社団法人日本テニス事業協会が創立から30周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。

1988年に任意団体としてスタートされた後の1992年に公益法人となり、2012年内閣府からの公益社団法人化認定を経て、未曾有のコロナ禍のもとでも変わらず、我が国のテニス界を支え、発展へと御導きいただいた、歴代の会長、役職員のみなさま、協会に加盟されているすべてのテニス事業者のみなさまに、心よりの敬意と感謝を申し上げます。

さて、私たち日本テニス協会は、創立100周年を迎えるにあたり、協会の理念を下記にまとめました。

「わたしたちはテニスを通じて、人と人、国と国とをつなぎ、その素晴らしさを伝え、すべての人が健やかで幸福な人生を享受できるような、多様性と調和のある社会の実現に貢献します。」

この理念の実現に向け、私たちのステークホルダーへ働きかけるに際し、貴協会との連携は、もっとも重要なことの一つと考えています。

なぜならば、すべての活動の基礎となるテニ

ス人口の拡大に向けた施策は、クラブ、スクール等におけるみなさまの普及活動に、その多くを担っていただいているからです。

また、テニスプロデューサー資格制度をはじめとする、多種多様な研修会や勉強会を通じ、次代のテニス界を支える人材の育成に、貢献をいただいています。

さらに、テニス業界全体の発展に向け、事業者のみなさまの経営を助け、成功を後押しする活動にも、積極的に携わられています。

このように重要な活動をされている、貴協会との連携なくして、私たちの理念の実現はあり得ないため、テニスの日推進協議会や日本テニス連合における協力にとどまらない、さらに幅広い交流を通じて、次代に向けた重層的な関係を、より強固なものとしていきたいと考えております。

最後になりましたが、公益社団法人日本テニス事業協会の益々のご発展と、役職員のみなさまのご健康、そして加盟のテニス事業者のみなさまのご清栄をお祈りして、ごあいさつとさせていただきます。



公益社団法人日本プロテニス協会  
理事長 藤沼 敏則

公益社団法人日本テニス事業協会が、創立 30 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協会は設立以来、テニス事業の発展、テニス事業者の社会的地位の向上を目指して我が国のスポーツ産業の振興に貢献し続けていることに、深く敬意を表する次第でございます。

貴協会はテニス事業者の集まる団体として、様々な事業を展開され、テニス業界だけにとらわれず、多種多様な業種のノウハウを取り入れ、経営者、管理者、フロントなど人材育成を行い、また 3 人制テニスのトリプルス等の普及活動を通じて、テニス事業の活性化、テニス業界全体の社会的地位向上を継続されていることに頭が下がる思いでございます。「継続は力なり」という言葉がありますが、将来を見据えた貴協会の素晴らしい活動がこれからも続くことを心より祈念申し上げます。

貴協会とは、コーチ、スクール、クラブと言ったテニス事業を通じて共通な部分が多く、共に立ち上げた「テニスプロフェッショナル」では、オンコートの指導技術のみならず、テニス業界の問題など、お互いが時代のニーズをキャッチし、切磋琢磨しながら様々な取り組みを行ってまいりたいと考えております。

私共、日本プロテニス協会も今年で 50 周年

を迎えました。1972 年に株式会社日本プロテニス協会として、プロテニスプレーヤーの団体として活動することを目的として、石黒修氏・渡辺功氏・渡辺力氏・柳恵誌郎氏の 4 名が設立しました。その後プロ指導者養成も必要と考え、1979 年に最初のプロ指導者の認定試験を実施、その後アメリカプロテニス協会と提携し、世界で初めてアメリカプロテニス協会の指導者ライセンスを発行する団体として日本全国に広がりを見せました。

また「New Generation Tennis 石黒杯」を実施し、子供たちが将来グローバルな人間として活躍できることを目的とし取り組んでおります。近年社会貢献活動にも目をむけ、健常者と障害を持つ方が共生できる社会を実現するため、テニスの一つのツールとして障害を持つ方への活動も行っております。

今後も公益社団法人日本テニス事業協会様、公益財団法人日本テニス協会様、日本女子テニス連盟様等と力を合わせ、日本テニスの普及・発展に尽力し、日本テニス界をより一層盛り上げていきたいと思っております。

最後になりましたが、公益社団法人日本テニス事業協会様の益々のご発展ならびに会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。





日本女子テニス連盟  
会長 武正 八重子

公益社団法人日本テニス事業協会様が創立 30 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会が結成された 1992 年当時は大変盛んに民間テニスクラブが増え、テニスブームが到来し始めたころでした。飯田太郎会長から雑賀昇会長、大久保清一会長へとバトンが渡され、創立以来テニス事業は勿論、幅広くスポーツ産業の発展に永年取り組み日本のテニス界へ多大な貢献をしてこられました。

常に将来を見据え、日本テニス産業セミナー始め、各種研修会を数多く開催して人材育成を目指し、スポーツフェスタ等のイベント開催を通じて、スポーツ振興並びにテニスの普及に取り組んでおられる事は大変頼もしく敬意を表します。

日本テニス連合会議では真剣に日本のテニス界の将来について語り合っていますが、度々の貴協会からの意義深いご提案、アメリカテニス事業協会情報等を有難く拝聴しております。

私共日本女子テニス連盟は次世代の未来ある

子ども達へテニスの楽しさ、魅力を伝え、世界のトップ選手やテニス愛好者、テニスファンを増やしていくことを使命と考えております。

私は会長就任以来「誠意・情熱・希望」を基本姿勢として、会員及び 3 歳から 100 歳までの多くの方々が健やかにテニスライフを楽しんで頂ける様、笑顔と活力のみなざる活動に取り組んでおります。これからも会員の皆様の声を大切にして、生涯スポーツであるテニスを通じて、多くの方の日々の生活をより楽しく、人生をより豊かに出来るよう精進して参る所存でございます。

今後も公益社団法人日本テニス事業協会様、公益財団法人日本テニス協会様、公益社団法人日本プロテニス協会様と共に力を合わせ、日本のテニスの普及発展を願い、テニス界をより一層盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

結びに公益社団法人日本テニス事業協会様の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念しお祝いの言葉と致します。



テニス用品会  
会長 米山 勉

このたびは、公益社団法人日本テニス事業協会様が設立30周年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴協会は設立以来、民間テニス事業者の組織として、テニス事業に関する調査・研究、指導・広報、セミナー・研修会等の開催、普及啓発、苦情処理等の事業の推進並びに、テニス事業者の社会的地位の向上を目指し、様々な活動を続けておられます。

まず、人材育成事業として、テニスプロデューサー資格認定制度の制定や、テニス産業セミナー、経営勉強会 TOPGUN PROJECT、クラブ・スクール・マネージャー・コーチ・フロントの各部会での各種勉強会、研修会などを開催されておられます。

次に、普及事業として、東京都知事杯有明チームテニスコンペティション、有明の森スポーツフェスタ、キッズ & ジュニアテニスカーニバル、日本テニスチーム大会、有明ワンデーイベントの開催や、テニストリプルの普及活動などに取り組まれておられます。近年においては、新型コロナウイルス感染症の拡大で日本国民の活動が制限されるなか、「テニスは身体接触がないスポーツで、広々とした開放的なコートで距離を保ちながら安全に楽しめて、健康にも寄与する」を伝えるため「だからテニス!!」のポスターを製作され、ホームページなどで案内されておられます。

そして、サポート事業として、安全管理推進

ツールの開発、情報誌「JTIA NEWS!」の発行をはじめ、オリジナルのほり、テニスイラストの配布、指定管理者制度、環境問題、設備・テニスグッズ等の紹介などに取り組まれておられます。

多様化し続ける社会に対応すべく、従来の考え方や価値観にとらわれることなく、常に将来を見据えて次のステップに果敢に挑戦していこうという決意のことは「For the Next Round…」を掲げ、さまざまな事業に取り組まれていること、さらには、テニス事業の健全な発展はもとより、日本におけるスポーツ産業の振興に貢献されていることに心より敬意を表します。

テニス用品会は、メーカーの連携により、テニス用品の品質、性能の向上と安全性を確保し、生産及び流通の合理化と消費者対策の改善を図り、関係諸団体と連携して、テニス市場の活性化、そしてテニス業界の健全な発展と、テニスというスポーツを通して国民の体力向上と健康維持に寄与できるよう努めています。

事業者の集まりであります貴協会とメーカーの集まりである当会が力を合わせることで、テニス界が盛り上がることを願っております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、公益社団法人日本テニス事業協会様がさらなる飛躍をとげられんことを祈念いたしまして、お祝いのごあいさつとさせていただきます。

## 設立時回顧

# 一番印象に残る思い出



武蔵野ローンテニスクラブ  
内藤 昇オーナー  
(左から2人目)

吉田：

今日はお時間をいただきありがとうございます。

内藤オーナー：

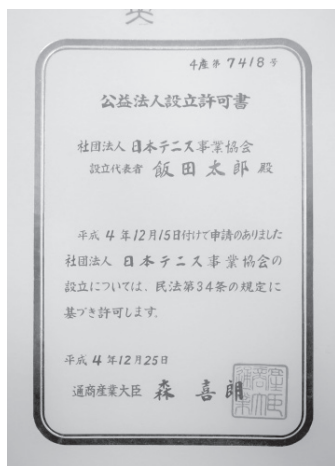
お出でいただいて本当にありがとうございます。

吉田：

今日は30周年に際しまして、改めてオーナーの経験された事業協会創世記のご苦労などのお話を伺い、20年30年と積み上げてきた事業協会にこれから期待するものをオーナーの見地からお話しいただきたいと思えます。よろしくお願い致します。

内藤オーナー：

平成4年12月25日、当時の通商産業省で認可を受けた時の写真を見ながら、これより前に色々な話があるんですよ。昭和47年11月に発足した首都圏テニスクラブ連盟から発展し、関西を含め様々な交流を深める中で、百合ヶ丘ファミリーテニスクラブの石原徳昭支配人からの働きかけを機に日本テニスクラブ連盟の会長飯田太郎さん、上用賀テニスクラブの飯田恭次さん、百合ヶ丘ファミリーテニスクラブの鈴木雅之



1992.12.25 公益法人設立許可書



社団法人日本テニス事業協会設立披露パーティ  
(H5.1.18 横浜ニューグランドホテル)

さん、石原支配人と内藤オーナー（以下：私）が百合ヶ丘ファミリーテニスクラブの応接間に集まったことがあったと記憶しています。その場で、任意団体ではなく、許認可を受けた社団法人に移行する話があり、賛同してもらえるかとの打診がありました。当時はテニスクラブ最盛期で全国各地にたくさんのテニスクラブができていました。そんな中クラブ連盟は、固定資産税、地価税、相続税などの対策の為、陳情などの活動を行っていました。しかし任意団体からの声を官庁が聞いて対応してくれることはありませんでした。その為、今後任意団体ではなくきちんとした組織であるべきだとの意見を石原支配人がイニシアティブをとってまとめていらしたんだと思います。

その後、認可を受けるための活動を始め何度となく申請書類を提出するも、通商産業省の担当者の門は固く、なかなか認可を受けることは出来ませんでした。時を同じくして、少しずつテニスクラブの勢いが落ち着き出し、



一方でテニススクールがとても盛んになってきていたのも記憶しています。そこで、JSSの北野さん、RECの熊谷社長とも意見交換をしながら、新団体の活動へ賛同をいただくよう働きかけをしたり、当時幾度となく申請を却下されていた為、私は地元選挙区選出の代議士で中小企業の政策に精通していた粕谷茂さんへ相談したりもしていました。そうしたところ、先ほどの写真の通り平成4年12月25日に無事に認可を受けることが出来ました。30周年を契機に振り返ってみて、改めて鈴木雅之オーナーと石原支配人のご尽力が大きな基になっていると感じます。

**吉田：**

内藤オーナーはこの素晴らしいクレイコートのテニスクラブを運営されながら2つのテニススクールの経営もされていらっしゃるんですね。事業的な効率を考えるとクラブよりスクールの方が良いと思うのですが、クラブ経営を継続され続けているところの思いをお聞かせください。

**内藤オーナー：**

飯田太郎さんが経営していらした鶴川のグリーンテニスクラブは今考えてもテニスクラブとはどの様なものかというのが分かる素敵なお場所でした。元来、クラブがあったからスクールが併設されたのが歴史です。ですから基本はクラブなんだと思います。テニスを enjoy される方々の本当の喜びは、クラブに来て会員同士でおしゃ

べりをする事、そして少しテニスをする事（笑）です。20年以上前にテニススクールを追加して開業しましたが、売上ははるかにテニスクラブより多いです。ただし、どこのテニススクールもクラブ化している、つまり4～5人で一緒に食事をしたり、おしゃべりしながら飲み物をとっている姿を見るとそのように感じます。

**吉田：**

創世記から30年間ずっと事業協会を見てこられたオーナーから、今後の事業協会に期待することがあればお聞かせください。

**内藤オーナー：**

テニス事業経営はサービスが中心となっていることを認識し、会員の皆さんが更なる資質向上に努められることを期待します。経営的にはスクールに依存している事業所が多いと思います。ただしクラブ連盟が主体となって動き出したのが、社団法人日本テニス事業協会になった歴史を考えると、もう少しテニスクラブを盛んにするための活動に力点を置いてほしいと思います。テニス事業協会の実態と比例するのではないのでしょうか。

**吉田：**

テニスクラブを次の時代にどのように残していくか、今日は大きなテーマをいただきました。ありがとうございました。

# 日本テニス事業協会30年の歩み



## 1992

12月25日社団法人日本テニス事業協会誕生  
(日本テニスクラブ連盟を発展させ、テニス事業者のさらなる  
繁栄を期して船出をしました)



### 【日本テニス界】

- ・松岡修造が韓国オープンで日本男子初のツアー優勝
- ・秋篠宮殿下、(財)日本テニス協会名誉総裁に就任

### 【社会ニュース】

- 7月 バルセロナ五輪で日本は金3、銀8、銅11のメダル  
を獲得、岩崎恭子が14歳で金
- 9月 毛利衛さん、日本人初のスペースシャトル搭乗

## 1994

平成6年度調査事業「消費者ニーズに  
対応した機会提供、  
質の高いサービス  
提供の在り方」につ  
いての調査を実施



「テニスフェスティバル」開催



### 【日本テニス界】

- ・伊達公子がジャパンオープン3連覇
- ・フェド杯で日本女子初のベスト8進出  
95年世界グループ入り決定

### 【社会ニュース】

- 7月 向井千秋さん「スペースシャトル・コロンビア号」で  
日本人女性初の宇宙飛行

## 1993

広報紙「TENNIS LIFE NOW」創刊号を3月に発行(~1995年)  
情報紙「JTIA News!」創刊号を5月に発行

「第1回通常総会」開催



「日本テニス産業セミナー」開催

日本テニスクラブ連盟時より現在  
に至るまで、テニス事業・産業とし  
てのテニスの発展・協会の活性化  
の推進を目的に毎年開催



「日本テニスチーム大会」を開催  
協会の会員クラブメンバーやス  
クール生の技量の向上と親睦を  
図るための大会として日本テニス連  
盟時より毎年開催

### 【社会ニュース】

- 5月 日本で初めてのプロサッカーリーグ「Jリーグ」が開幕
- 6月 皇太子徳仁親王殿下と雅子さまの「結婚の儀」パ  
レードに19万人の出入

## 1995

平成7年度調査事業の実現化として「顧客の創出・育成と、よ  
り良い環境提供のための“テニスフェスティバル”事業」を実施

国際車いすテニス大会「仙台オープン」開催



### 【日本テニス界】

- ・伊達公子が全仏で4大会日本女子史上初のベスト4進出
- ・伊達公子が世界4位、ツアー制度では日本選手最高位
- ・松岡修造がウィンブルドンで日本男子62年ぶりのベスト  
8進出
- ・沢松奈生子が全豪ベスト8に進出
- ・中牟田喜一郎氏が第10代(財)日本テニス協会会長に就任

### 【社会ニュース】

- 1月 「阪神淡路大震災」発生
- 3月 「地下鉄サリン事件」発生
- 11月 東京臨海副都心に「ゆりかもめ」が開業
- 米・メジャーリーグでドジャースの野茂英雄投手が新  
人王獲得



## 1996

平成8年度調査事業「テニス産業に関わる高度情報化に関する調査研究」を実施

＜調査対象に對する経路経緯・経路経緯＞

活動経路1：今までにテニスをプレーしたことのある

性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10代	20代	30代	40代	50代	10代	20代	30代	40代
人数	487	424	605	425	447	261	228	676
割合	48.7	42.4	60.5	42.5	44.7	26.1	22.8	67.6

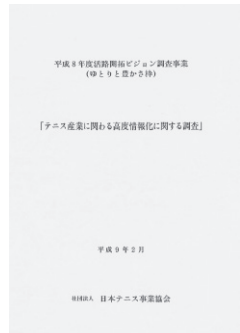
活動経路2：10年間以上テニスをプレーしたことのある

性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10代	20代	30代	40代	50代	10代	20代	30代	40代
人数	172	204	209	229	118	125	227	167
割合	17.2	20.4	20.9	22.9	11.8	12.5	22.7	16.7

活動経路3：テニス本場も経験がない、割合に絞って見ると

性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10代	20代	30代	40代	50代	10代	20代	30代	40代
人数	229	204	221	209	171	149	208	213
割合	22.9	20.4	22.1	20.9	17.1	14.9	20.8	21.3

出典：(株)ビデオサーチ 98WTS Power Index 1996.11



### 【日本テニス界】

- ・フェド杯世界グループ初戦でドイツを破る大金星、伊達が日本女子で初めて世界1位のグラフを破る
- ・伊達公子が日本女子初のウィンブルドンベスト4進出、グラフとの激戦は日没再試合となり、歴史的惜敗
- ・伊達公子が引退

### 【社会ニュース】

- 4月 三菱銀行と東京銀行が合併し、世界一となる資金量53兆円の「東京三菱銀行」誕生
- 7月 アトランタ五輪で日本は金3、銀6、銅5のメダルを獲得

## 1997

平成8年度調査事業の実現化として「テニス産業における高度情報化に対応する能力開発・人材育成事業」を実施



JTIA のホームページが誕生



### 【日本テニス界】

- ・平木理化が全仏混合でマヘシュ・ブバシ(インド)と組んで優勝
- ・松岡修造が引退(98年ジャパンオープンが最終試合)

### 【社会ニュース】

- 4月 消費税が3%から5%に引き上げ
- 12月 東京湾アクアラインが開通

## 1998

「テニスの日」スタート。有明メインイベント、共同イベント、個別イベントを各所で開催



民間テニス事業者の存続を脅かす「公営コート問題」について真剣な取り組みを継続実施



社団法人日本テニス事業協会のロゴマークを制定



社団法人日本テニス事業協会

最新の知識や情報の把握、指導育成システムの研究と実践を目的とした「ジュニア育成指導者研修会」をヤマハリゾート「つま恋」にて1泊2日で開催

### 【日本テニス界】

- ・沢松奈生子が引退
- ・国内テニス関係12団体と選手代表で「日本テニス振興協議会」結成、秋分の日を「テニスの日」と定める

### 【社会ニュース】

- 2月 長野冬季五輪で日本は金5、銀1、銅4のメダル獲得
- 5月 貴乃花と若乃花、史上初の兄弟横綱誕生
- 6月 日本、サッカーフランスW杯に初出場

## 1999

特別企画として「会員制テニスクラブの黎明期から今日まで」のテーマで協会の先達による貴重なお話をお聞きし「JTIA News! '99 Special」に掲載



特別企画第2弾「テニスクラブの歴史と今日」についてお話しいただき「JTIA News!」に掲載

平成11年度調査事業「新たなテニス愛好家創出を目的とした革新的会員制度ならびに利用システム及び料金体系策定のための調査研究」を実施

### 【日本テニス界】

- ・杉山愛が全米混合でマヘシュ・ブバシ(インド)と組んで優勝



## 2000

平成12年度調査事業「テニス事業者による地域青少年育成支援への取り組みに関する調査研究事業」の実施

テニス人口裾野拡大のためにテニスをしたことがない、または経験の少ない子供とその親を対象にショートテニスによる「キッズ&ジュニアテニスカーニバル」がスタート



情報化時代に対応して会員の事業者の皆様、テニス愛好家の方々に利用いただけるようホームページを一新

### 【日本テニス界】

- ・杉山愛が全米でジュリー・アラール・デキュジス(フランス)と組んで優勝、同ペアでウィンブルドンも準優勝
- ・盛田正明氏が第11代(財)日本テニス協会会長に就任

### 【社会ニュース】

- 9月 シドニー五輪で日本は金5、銀8、銅5のメダル獲得
- 10月 マラソンの高橋尚子が国民栄誉賞受賞

## 2001

「21世紀の経営戦略策定」をテーマとして会員制クラブ、スクールのそれぞれの成功者の事例紹介等、分科会方式を取り入れて「TOPGUN PROJECT」がスタート



(株)船井財産コンサルタンツの協力により「これからのテニスクラブ経営」：副題(事業活性化から継承まで)の小冊子を発行



### 【日本テニス界】

- ・杉山愛がウィンブルドンでキム・クライシュテルス(ベルギー)と組んで準優勝

### 【社会ニュース】

- 3月 サッカーくじ「toto」の受付開始
- 9月 東京ディズニー・シーがオープン
- 9月 アメリカ9.11テロ事件発生
- 10月 「テニスの王子様」TV放映開始、テニスが大ブームとなる
- 12月 皇太子妃・雅子さまが愛子さまをご出産

## 2002

「民間スポーツ施設税制についての取組」・税制問題に端を発して民間スポーツ施設の閉鎖や縮小が取り沙汰される中、スポーツ関係団体が結束して「スポーツ施設を守る会」発足と「100万人署名運動」を実施

**スポーツ施設を守るための  
100万人署名運動に  
ご協力ください**

日本全国の民間スポーツ施設が、多数減少しています。

● 施設閉鎖を止めるには署名が必要です。  
● 署名は施設ごとに集めてください。  
● 署名集め方の詳細は以下のパンフレットをご覧ください。

● 署名集め方の詳細は以下のパンフレットをご覧ください。

● 署名集め方の詳細は以下のパンフレットをご覧ください。

### 【日本テニス界】

- ・アジア競技大会釜山で男子団体が28年ぶりの金メダル

### 【社会ニュース】

- 5月 日本・韓国共同開催のサッカーW杯で日本はベスト16優勝はブラジル
- 9月 北朝鮮の金正日総書記が小泉首相との会談で日本人拉致事件を認め謝罪
- 10月 日本人拉致被害者5人が北朝鮮から24年ぶりに帰国

## 2003

「設立10周年記念テニス産業セミナー」では今までお世話になった賛助会員や10年継続会員等の表彰を実施



公営施設活性化モデル事業として東京都立有明テニスの森公園においてスペイン式指導法を取り入れた「ポール・セダノ テニスアカデミア」を開催

### 【日本テニス界】

- ・杉山愛が全仏とウィンブルドンでクライシュテルス(ベルギー)と組んで優勝
- ・(財)日本テニス協会設立80周年

### 【社会ニュース】

- 3月 イラク戦争、アメリカ軍がイラクへの攻撃を開始
- 12月 地上デジタル放送開始  
アメリカ軍がイラクのフセイン元大統領を拘束



## 2004

団塊の世代が退職を迎える2007問題に対して、業界からブームを興すべく「シニアブームを本気で興す!プロジェクト」を立ち上げた



広く一般テニス愛好者を対象とする団体戦「有明チームテニスコンペティション」が有明テニスの森公園を会場にスタート



### 【日本テニス界】

- ・アテネ五輪女子ダブルスで杉山愛・浅越しのぶ組が4位に入賞
- ・デ杯で74年ぶりにインドを破る

### 【社会ニュース】

- 8月 アテネ五輪で日本は金16、銀9、銅12のメダル獲得
- 10月 柔道の野村忠宏が五輪3大会連続で金メダル獲得
- 新潟県中越地震発生

## 2005

平成15年に施行された「指定管理者制度」への調査・研究をスタートさせ、豊島区立三芳グラウンドの指定管理を受託



「賛助会員意見交換会兼懇親会」を開催



元テニスプレーヤー沢松奈生子氏とタレントのヨネスケ氏の両名を「ゆうゆうテニス大使」に任命

### 【日本テニス界】

- ・鈴木貴男・岩淵聡組がAIG ジャパンオープンの男子ダブルスで優勝、日本男子ペアとしてツアー初優勝の快挙

### 【社会ニュース】

- 11月 紀宮清子内親王殿下と黒田慶樹さんをご結婚

## 2006

コーチの資質向上を目指し2ヶ月に1回のペースで「コーチ部会」をスタート



「テニスプロデューサー資格制度」がスタートし、第1回テニスプロデューサー資格認定講習会&試験を実施



各事業所の安全管理強化のため「AED(自働体外式除細動器)」の共同購入の斡旋を実施

「テニスプロデューサー資格制度」ロゴマークを制定



## TENNIS PRODUCER

### 【日本テニス界】

- ・車いすテニスで日本人史上初めて国枝慎吾がシングルス世界1位の快挙を達成

## 2007

フロント部会の活動としてフロントスタッフの資質向上を目指す「フロント・ステップアップ・アカデミー」がスタート

有明テニスの森公園・48面のコートを使い日本最大規模のチーム戦「東京都知事杯有明チームテニスコンペティション」を開催



### 【日本テニス界】

- ・車いすテニスで史上初めて国枝慎吾が年間グランドスラム達成の快挙
- ・錦織圭が2月のデルレービーチ国際で、92年松岡修造以来、日本男子史上2人目のツアー優勝

### 【社会ニュース】

- 2月 第1回「東京マラソン」開催
- 10月 郵政民営化がスタート





## 2008

テニスの普及を目的として本協会とテニス用品メーカー6社で「テニス活性化委員会」を設置しスタート

「15周年記念日本テニス産業セミナー」を開催



### 【日本テニス界】

- ・ 錦織圭が全米で日本男子71年ぶりの4回戦進出
- ・ クルム伊達公子が5月に12年ぶりの現役復帰、11月の全日本選手権では16年ぶりに優勝

### 【社会ニュース】

- 1月 大阪府知事に橋下徹氏が就任
- 8月 北京五輪で日本は金9、銀6、銅10のメダルを獲得
- 9月 リーマン・ブラザーズ経営破綻

## 2009

「テニス活性化委員会」の中に「始めよう部会」と「もっと続けよう部会」が誕生



### 【日本テニス界】

- ・ (財)日本テニス協会、(社)日本プロテニス協会、(社)日本テニス事業協会、日本女子テニス連盟の4団体で「日本テニス連合」を結成

### 【社会ニュース】

- 1月 バラク・オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任
- 3月 WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)で原辰徳監督率いる日本が2大会連続優勝
- 8月 衆議院総選挙で民主党が歴史的勝利

## 2010

「安全管理セミナー」がスタート

クラブ部会主催による「テニスクラブ創業者懇談会」を京王プラザホテルにて開催



### 【日本テニス界】

- ・ クルム伊達公子が復帰後全仏で勝利

### 【社会ニュース】

- 1月 日本航空、会社更生法の適用を申請
- 2月 バンクーバー冬季五輪で日本は銀3、銅2獲得
- 6月 南アフリカでサッカーW杯開催、日本は決勝トーナメントへ進出
- 9月 尖閣諸島沖で中国漁船と海上保安庁の巡視船が衝突

## 2011

「有明の森スポーツフェスタ」が有明テニスの森公園 & 有明コロシウムにてスタート



コーチ部会の活動として、コーチの資質向上を目指す「コーチステップアップアカデミー」がスタート



### 【日本テニス界】

- ・ 錦織圭が世界ランキング1位のジョコビッチを破る大金星
- ・ 畔柳信雄氏が第12代(公財)日本テニス協会会長に就任

### 【社会ニュース】

- 3月 「3.11東日本大震災」発生  
福島第一原発事故で深刻な被害
- 7月 サッカー女子W杯「なでしこジャパン」世界一



## 2012

社団法人日本テニス事業協会から内閣府認定の公益社団法人日本テニス事業協会へ名称変更



公益社団法人 **日本テニス事業協会**  
JAPAN TENNIS INDUSTRY ASSOCIATION

マネージャー部会では、リーダーであるマネージャーが“人として成長し統率力を身につける”ことを学ぶ場とする「実践!“支配人養成塾”」がスタート

コーチ部会を中心に「PLAY&STAY」講習会を複数開催するなど、全国的に「PLAY&STAY」を広める活動を本格的に開始

### 【日本テニス界】

- ・ ロンドン五輪に錦織圭、添田豪、伊藤竜馬の3選手が出場、錦織圭ベスト8
- ・ ロンドンパラリンピック車いすテニスで国枝慎吾が2大会連続金メダル
- ・ デ杯のワールドグループ1回戦でクロアチアに惜敗
- ・ フェド杯ベルギーに勝利、ワールドグループ1部へ昇格
- ・ 錦織圭が楽天ジャパンオープンで日本人として男子シングルス初優勝し、直後の世界ランクで自己最高の15位を記録

## 2013

20周年記念日本テニス産業セミナーを京王プラザホテルにて開催

多年にわたり本協会の発展ならびに日本テニス界の伸展に多大なる貢献をされていた賛助会員の方々を表彰

JTIA News! 20周年記念特別号を発行

定時総会にて大久保清一会長就任披露パーティを開催



### 【日本テニス界】

- ・ 錦織圭が全米国際インドアテニス選手権(翌年よりメンフィスオープンに改名)優勝
- ・ 錦織圭とマイケル・チャンがコーチ契約

### 【社会ニュース】

- 5月 長嶋茂雄、松井秀喜に国民栄誉賞
- 7月 富士山が世界文化遺産登録
- 9月 2020東京オリンピック・パラリンピック開催決定

## 2014

「韮庭球場」「韮テニスセンター」を指定管理者として受託



フロント部会が韮テニスセンターにて勉強会を行ったり、近畿テニス事業協会主催の勉強会も増え、様々な学びの場が提供できるようになった。

テニスプロデューサー制度の一層の充実と有資格者の資質向上を目的に、各科目ごとを定期的に開催するフォローアップ研修会がスタート

### 【日本テニス界】

- ・ 錦織圭が全米で準優勝し、ATP ツアーファイナルに初出場(最終ランキング5位)
- ・ 西岡良仁がアジア大会で40年ぶりに金メダル

### 【社会ニュース】

- 2月 ソチ冬季五輪で日本は金1、銀4、銅3を獲得
- 4月 消費税8%に増税
- 6月 富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録

## 2015

コーチ部会ではテニス技術だけでなく身体の構造、使い方を学ぶ為の「TPP による指導者養成塾」がスタート



フロント部会の“本気でフロントを楽しむ”をテーマにしたクラブ・スクールの要であるフロントを育成する「フロント育成塾」がスタート

### 【日本テニス界】

- ・ 上地結衣が2014年車いすテニス年間グランドスラム達成(ダブルス)史上最年少記録でギネス認定
- ・ 国枝慎吾が車いすテニス男子シングルス最多連勝記録でギネス認定
- ・ 錦織圭が自己最高位4位

### 【社会ニュース】

- 9月 ラグビーワールドカップ南アフリカ戦歴史的勝利で五郎丸ポーズが流行
- 11月 パリ同時多発テロ発生



## 2016

スクール部会で1年間を通してテーマを設け、より充実した勉強会を行う「スクール経営研究会」がスタート  
「トリプルS」の導入計画が検討され始める

アメリカテニス事業協会との情報交換を兼ねた「NY テニス施設見学・US オープン観戦ツアー」を実施



クラブ部会にてパデル体験会を実施

### 【日本テニス界】

- ・大坂なおみが全豪・全仏・全米で3回戦進出し、WTA ツアー最優秀新人賞を受賞
- ・錦織圭がリオデジャネイロ五輪で銅メダル獲得
- ・上地結衣・国枝慎吾が共にリオデジャネイロパラリンピックで銅メダル獲得

### 【社会ニュース】

- 3月 北海道新幹線開業
- 3月 安全保障関連法施行
- 4月 熊本地震 M7.3発生
- 8月 リオデジャネイロ五輪で日本は金12、銀8、銅21を獲得

## 2017

コーチ部会では最新設備を使用した新しいレッスン方法を紹介する勉強会を開催

また「部活動コーチプロジェクト」を立ち上げ実際の部活動を見学、勉強会を開催



テニスの日が制定20周年を迎えた

トリプルS体験会を開催

### 【日本テニス界】

- ・穂積絵莉・加藤未唯組が全豪複ベスト4
- ・杉田祐一がアンタルヤオープン優勝 (ATP ツアー初優勝)
- ・伊達公子が現役引退を表明
- ・内山靖崇・マクラ克蘭勉組が楽天ジャパンオープン優勝

### 【社会ニュース】

- 1月 アメリカ大統領ドナルド・トランプ就任
- 1月 稀勢の里、19年ぶり日本出身横綱誕生
- 2月 北朝鮮、大陸間弾道ミサイル発射・核実験
- 6月 最年少棋士藤井聡太四段、29連勝、最年少で50勝達成
- 9月 男子100m、桐生祥秀が日本人初9秒98

## 2018

テニスプロフェッショナル合同セミナー (JPTA45周年コンベンション& JTIA25周年日本テニス産業セミナー) を京王プラザホテルにて開催

JTIA News! 25周年記念特別号を発行



第1回テニス・トリプルS全国大会 in 北海道を開催



「テニスをすべき10の理由」告知データを作成



### 【日本テニス界】

- ・ロジャー・フェデラーがユニクロとの大型契約を締結
- ・全米オープン女子シングルス優勝：大坂なおみ
- ・『東レパンパシフィックオープン』元世界女王のカロリナ・プリスコバが大坂なおみを下し、23年ぶりの日本人大会制覇を阻止した

### 【社会ニュース】

- 2月 平昌オリンピック開幕、日本金4、銀5、銅4
- 3月 ロシア大統領選挙、ウラジーミル・プーチンが得票率76パーセントで再選を決めた
- 4月 共同宣言「板門店宣言」
- 6月 2018年米朝首脳会談
- 6月 2018 FIFA ワールドカップロシア大会開催
- 6月 大阪府北部地震
- 7月 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)
- 9月 北海道胆振東部地震

# 日本テニス事業協会30年の歩み



## 2019

コーチ部会にて「テニス・トリプルス体験会」を開催

第2回テニス・トリプルス全国大会 in 北海道を開催

リニューアル工事中の有明テニスの森公園の一部を使用し、テニスの日有明イベントと同日に小規模な有明の森スポーツフェスタ2019を開催



3年ぶりに開催された東京都知事杯有明チームテニスコンペティションは「テニス・トリプルス」で開催



### 【日本テニス界】

- ・全豪オープン 女子シングルス優勝：大坂なおみ
- ・ウィンブルドン選手権少年男子シングルスで、望月慎太郎が、カルロス・ヒメノ・ヴァレーロを下し、日本人男子選手として初となるグランドスラム大会少年男子シングルの優勝を成し遂げた
- ・大坂なおみが「2020年東京オリンピックに日本代表選手として出場する」意思を明確に表し、国籍法の規定に従って日本国籍選択の手続きを行った

### 【社会ニュース】

- 4月 明仁が天皇位を退位。平成の終了。退位礼正殿の儀が執り行われる
- 5月 皇太子徳仁親王が天皇に即位。令和へ改元
- 6月 ホルムズ海峡タンカー攻撃事件
- 6月 国際捕鯨委員会 (IWC) を脱退
- 7月 京都アニメーション放火殺人事件
- 9月 日本ラグビーワールドカップ2019開催
- 10月 令和元年東日本台風
- 10月 世界遺産、首里城が火災により正殿と北殿、南殿が焼失した

## 2020

四国テニス事業協会設立。第31回日本テニス産業セミナーを四国（香川県）にて開催



【テニス場（テニス事業所）の新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン】を公表

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種研修会・勉強会などのオンライン開催がスタート



経営勉強会 TOPGUN PROJECT2020を Zoom ウェビナーにて開催

JTIA 会員のためのテニスイラストの無料ダウンロードページを開設

テニスプロデューサー資格認定講習会&試験を東京と大阪（オンライン配信）で開催

テニスはコロナ禍において安全に楽しく健康に寄与するスポーツであると知っていただくため「だからテニス!!」ポスターを日本テニス連合の各団体を通じ一斉に活用開始した。



### 【日本テニス界】

- ・日本テニス協会は楽天・ジャパン・オープン・テニス・チャンピオンシップス2020、花キューピットジャパンウイメンズオープンテニスチャンピオンシップス2020を新型コロナウイルスの影響により開催中止を決定
- ・東レバン・パシフィック・オープン・テニストーナメントを新型コロナウイルスの影響により開催中止を決定
- ・全米オープン女子シングルス優勝：大坂なおみ（2年ぶり2回目）

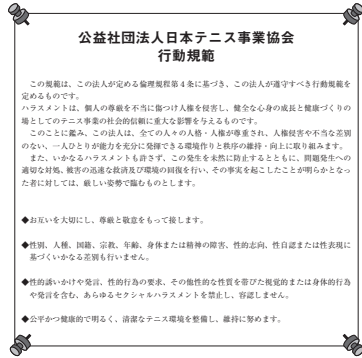
### 【社会ニュース】

- 1月 新型コロナウイルス感染症の世界的流行（2019年ー）
- 3月 東京オリンピック・パラリンピック開催延期
- 9月 内閣総理大臣指名選挙において自民党の菅義偉総裁が指名された
- 12月 小惑星探査機「はやぶさ2」が地球へ帰還



## 2021

テニス事業のより健全な発展を目指すため「倫理規程」「行動規範」を制定



これまで各部会で開催されていたみずさき ゆみ氏によるコーチング講座を、職位毎ではない部会共通の「コーチング講座基礎編・応用編」として開催がスタート



フロント部会フロント・ステップアップ・アカデミー「コロナ禍のフロント対応を考える」を開催

マネージャー部会「マネージャーの資質向上を目指す研究会」がオンラインにてスタート

### 【日本テニス界】

- ・全豪オープン 女子シングルス優勝：大坂なおみ（2年振り2回目）
- ・日本テニス協会は楽天・ジャパン・オープン・テニス・チャンピオンシップス2021、花キュービットジャパンウイメンズオープンテニスチャンピオンシップス2021を新型コロナウイルスの影響により開催中止を決定

### 【社会ニュース】

- 1月 ジョー・バイデン(民主党)が46代目のアメリカ大統領に就任
- 2月 ミャンマー軍が軍事クーデターで政権を掌握
- 7月 熱海市伊豆山土石流災害
- 7月 第32回夏季オリンピック(東京オリンピック)開催、日本金27、銀14、銅17
- 8月 第16回夏季パラリンピック(東京パラリンピック)開催
- 10月 自民党総裁の岸田文雄が第100代内閣総理大臣

## 2022

第32回日本テニス産業セミナーを仙台よりZoomウェビナーにて開催

有明テニスの森公園インドアコートで有明の森テニスフェスタ2022を開催



安全委員会により安全・危機管理マニュアル「インターネット編」を作成

「経営勉強会 TOPGUN PROJECT2022」を3年ぶりに対面にて開催

キッズ&ジュニアテニスカーニバルを3年ぶりに開催

3年ぶりの東京都知事杯有明チームテニスコンペティションをテニス・トリプルスで開催



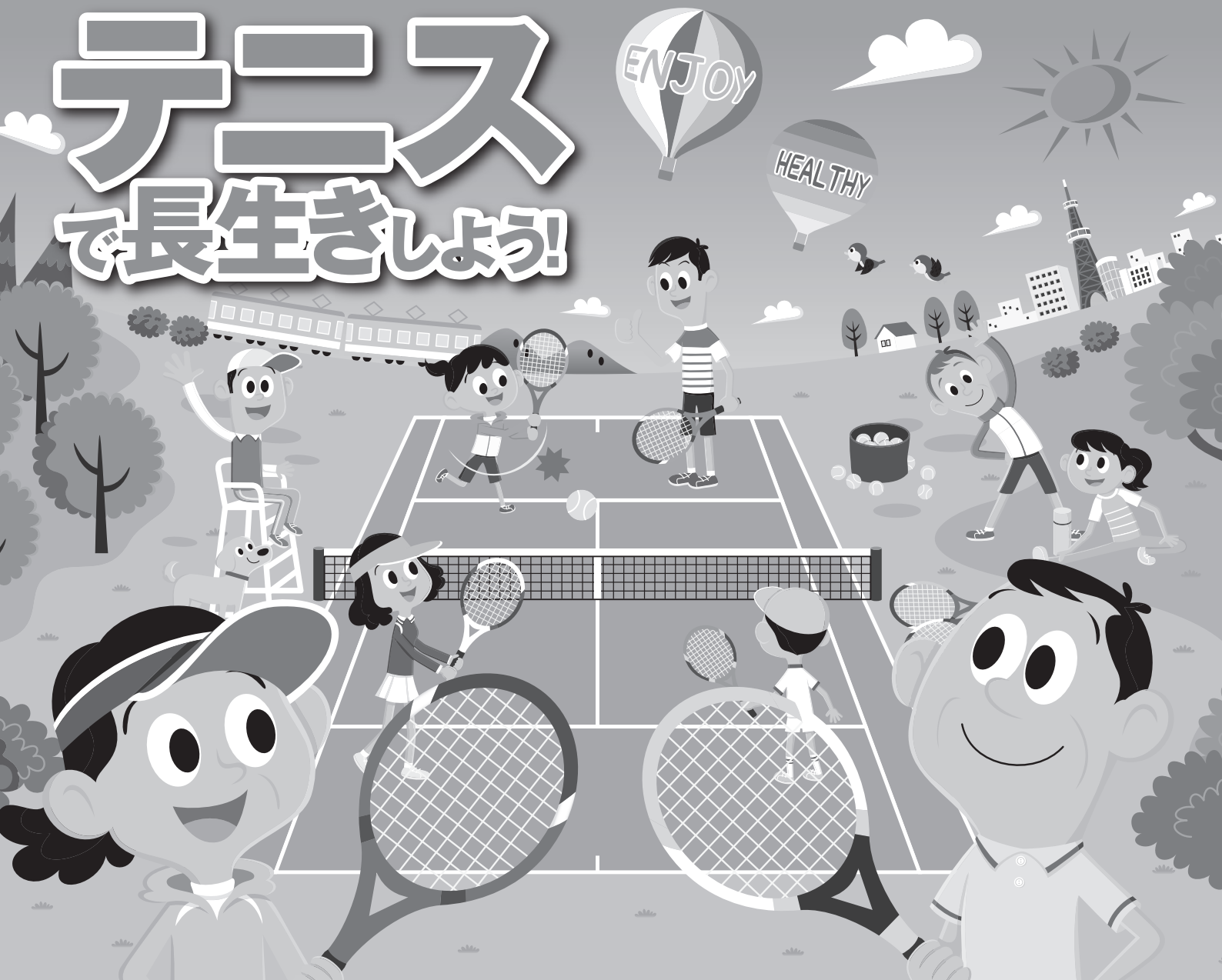
### 【日本テニス界】

- ・全仏オープン混合ダブルス優勝：柴原瑛菜 & ウェスリー・クルーフ
- ・ウィンブルドン選手権 国枝慎吾が同大会初優勝を果たした。グランドスラム大会のシングルス全てを制覇、パラリンピック車いすテニス競技の金メダルとを含めた生涯ゴールデン・スラムを達成

### 【社会ニュース】

- 2月 中国・北京にて第24回冬季オリンピック開催、日本金3、銀6、銅9
- 2月 ロシアがウクライナへの侵攻を開始
- 4月 日本の成人年齢を18歳に引き下げる改正民法が施行
- 4月 知床遊覧船沈没事故
- 7月 安倍晋三元首相銃撃事件
- 9月 イギリス・英連邦王国女王のエリザベス2世が老衰により崩御
- 11月 2022 FIFA ワールドカップ カタール大会開催





# テニス で長生きしよう!






## TOP 10 REASONS TO PLAY TENNIS テニスをする10の理由

オーストラリアと英国の研究チームが1994~2008年に平均年齢52歳の約8万人の男女を対象に追跡調査し、6スポーツ分野と死亡リスクとの関係を調べたところ、テニスなどのラケットスポーツを普段から行っている人は、運動をしない人に比べ、全死亡リスクが47%減少し、心臓血管疾患の死亡リスクが56%減少したことが判明した。  
出典: スポーツ医学誌「British Journal of Sports Medicine」(電子版)2016年11月28日号




### YOUR BODY

-  **01** ダイエットに効果がある  
シングルス1時間につき580~870kcal消費する。
-  **02** 長生きできる  
週に3時間のテニスによって心臓疾患のリスクが56%低減される。
-  **03** 心臓・筋肉・骨が強くなる  
他のスポーツに比べ、テニスをする人は心臓血管系の罹患率が低い。
-  **04** ハンド・アイコーディネーションの向上  
テニスを行うことで敏捷性、バランス、コーディネーション、反応時間が向上する。

### YOUR BRAIN

-  **05** ストレスを軽減する  
テニスはメンタル面、社会的側面においても大いにメリットがある。
-  **06** 脳力を高める  
戦略的なプレーは脳を活性化させる。テニスをする子は成績が向上する。
-  **07** 問題解決力の強化  
幾何学や物理学を駆使したコース戦略は、様々な面で活用できる。

### YOUR LIFE

-  **08** 家族や友達と楽しめる  
年齢を問わず、気軽な準備で多くの人と楽しめる。
-  **09** チームワークやスポーツマンシップの向上  
ダブルスや団体戦を通じてコミュニケーション能力がアップする。
-  **10** ソーシャルスキルの向上  
テニスを行うことでより明るく、よりポジティブ思考になる。



出典: 米国スポーツ医科学専門チームからテニスに関する最新レポート



公益社団法人 日本テニス事業協会  
JAPAN TENNIS INDUSTRY ASSOCIATION

<http://www.jtia-tennis.com/>

# スポーツ施設の 企画・計画・設計・コンサルタントとして



**50<sup>th</sup>**  
1969 - 2019  
**SPORT'S PRIDE**

**“スポーツ施設” 専業社として創業50年  
そのプライドを胸に常に最上をご提供致します。**



## 営業種目

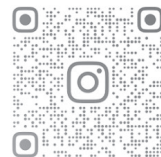
- 総合運動公園 ● 陸上競技場 ● 野球場 ● サッカー場 ● ラグビー場 ● テニスコート ● バレーボールコート
- バスケットボールコート ● ゴルフ練習場 ● 相撲場 ● 弓道場 ● ボルダリング ● スラックライン
- 整地造成造園 ● 遊園器具 ● 給排水設備 ● スプリンクラー設備 ● 照明設備 ● 建築工事 ● 土木工事
- 学校運動場 ● その他関係附带工事一式 ● スケートボードパーク



ちょうえい

**長永スポーツ工業株式会社**

長永スポーツ



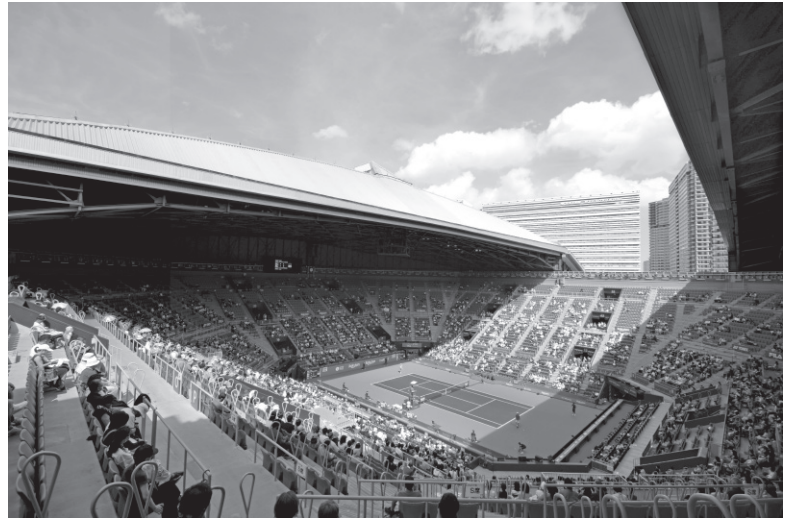
TEL 03-3417-8111 本社:東京 支店:千葉・神奈川・中部・三重

検索

**Instagram**

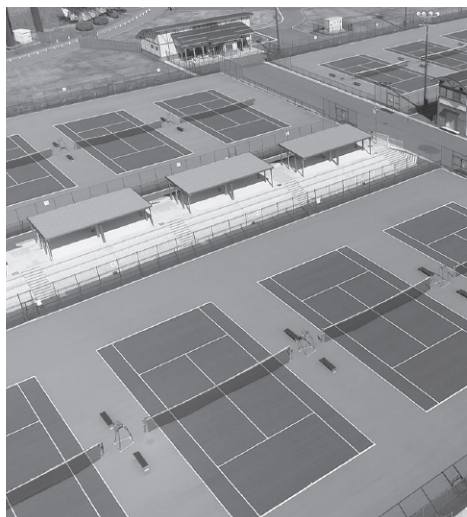
# DecoTurf®

*Setting  
The Standard  
Tennis Court*



*Since 1978*

*Fair play  
Comfortable  
Trust for safe*





お客様の夢を、カタチに...



ONO SEKKEI

# 株式会社 小野設計

代表取締役社長 大西 久樹  
取締役大阪事務所長 河合 宣紀



本 社 〒670-0055 兵庫県姫路市神子岡前1丁目2番1号 TEL 079-292-1234  
神子岡エイト FAX 079-296-4215

大阪事務所 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-300 TEL 06-6453-2345  
大阪駅前第2ビル3階302-1 FAX 06-6453-0758

HP <https://www.onosekkei.com> E-Mail [info@onosekkei.com](mailto:info@onosekkei.com)

# ■ スポーツインドア企画

スポーツ施設全般 設計・施工



テニス フットサル ゴルフ  
あらゆるニーズに対応します!

ETC  
Future Tent Creation

株式会社

# ダイエプロジェクト

本社：兵庫県宝塚市安倉北5丁目1-2

TEL：0797-87-4747 FAX：0797-87-4770

関東支店：神奈川県相模原市南区相模大野1-10-7

TEL：042-705-6167 FAX：042-705-6168

URL <http://tenttaro.co.jp>

E-mail [dpj@tenttaro.co.jp](mailto:dpj@tenttaro.co.jp)

# JASPAS

## 会費の集金は、 JASPASにおまかせください。

手間や時間のかかる口座振替手続きを専用端末で、簡単、スピーディーに

- ・印鑑不要。キャッシュカードでかんたん口座登録
- ・1台の端末で、  
口座振替受付だけでなくクレジット決済も使えます。
- ・スタッフの事務処理が大幅に軽減！
- ・小規模/地域密着のスクール様も  
お気軽にご相談ください。
- ・導入後も丁寧にサポート致します。



ご質問、お申し込みは、以下からお気軽に！



電話：03-6906-7055  
担当：小杉/松永/松本  
Mail：contact@jaspas.jp

JASPAS株式会社（ジャスパス）

〒152-0035

東京都目黒区自由が丘2-10-22

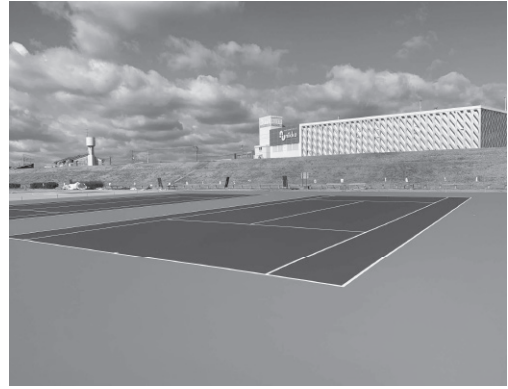
三菱UFJ信託銀行自由が丘ビル7F

## 環境にやさしい各種テニスコート

Laykold Master GEL



Laykold Advantage



Sportech R800



Laykold Advantage

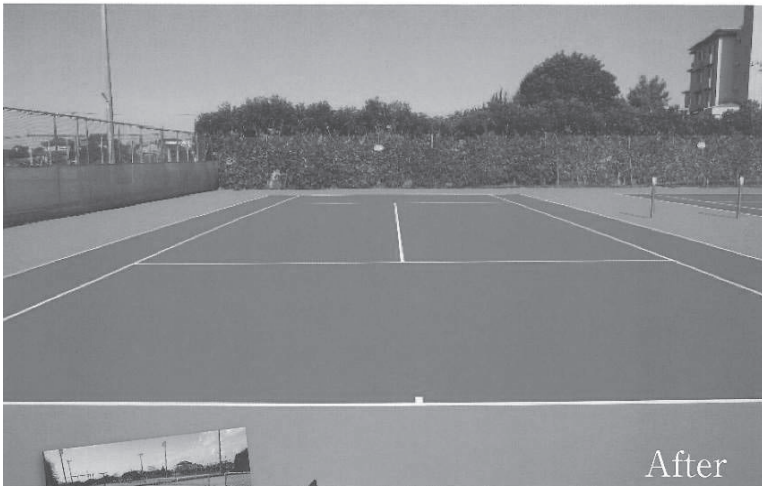


新発想！人工芝の上にハードコート

# SPORTEC FL

【スポルテック FL】

足腰の負担が軽減！  
既設人工芝を  
利用可能！



### スポルテックFLとは？

- ・人工芝の上にハードコートの新設します。
- ・既設人工芝の上にも施工可能なので撤去費用が掛からず環境配慮型製品です。
- ・下地舗装のひび割れに追従しにくく、表面にクラックが発生しづらくなります。

- ゴムチップ舗装 ● ウレタンエンボス ● 水性アクリルエマルジョン ● 各種人工芝敷設 ● 超速硬化ウレタン吹付 ● ポリウレア吹付 ● 各種防水工事

## 株式会社 東 旺

千葉市中央区弁天1-21-3 石橋弁天ビル3階

TEL 043-441-7068

<http://www.tooh-sportech.com/>



# あらゆるサーフェスを作り出す Tokyo Wellness



東京ウエルネスは、スポーツ体育施設全般の企画開発・コンサルティング・設計施工など  
トータルプロデュースを手掛ける一級建築士事務所です  
スポーツ施設のことならお任せください！

**TEL.03-5479-2281**    <https://www.tokyowellness.com>



スポーツ施設の設計・施工を手掛けて35年の実績と信頼

## 東京ウエルネス株式会社

〈一級建築士事務所〉 (公社)日本テニス事業協会 協力賛助会員 (公社)日本プロテニス協会 賛助会員

本社: 〒142-0002東京都品川区東品川3-25-17 大阪支社: 〒533-0031大阪府大阪市淀川区西淡路1-14-10

皆様のテニス施設の**設備関係**は  
**B&Cにおまかせください!**

業務用エアコン



電気代削減に

LED照明



省エネ対策に

トイレ改修工事



衛生面強化に

防犯カメラ



防犯対策に

その他設備



駐車場舗装、EV充電設備も対応します

各種メーカー  
取り扱い中です!  
ご相談ください

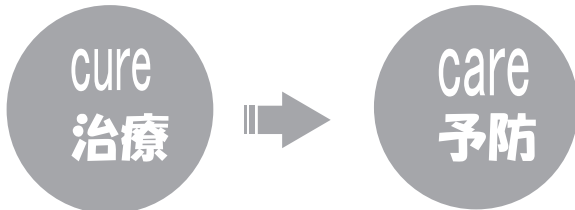
**お気軽にお問合せください!**

■株式会社オリエンテーション100%子会社  
**株式会社オリコビジネス&コミュニケーションズ**  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-15 大樹生命高田馬場ビル2F  
TEL:050-5537-8100 FAX:03-6892-0615  
URL: <https://www.orico-bc.co.jp> (担当:副田 そえだ)

国・地方公共団体  
**助成金**も  
対応しています!

※写真はイメージです。

# アスリートを強かにサポート！！



時代は“u”から“a”へ  
家庭用低周波治療器

サン **マッサーホット 77**



認証番号: 302AKBZX00059000

 **丸菱産業株式会社**  
東京支店

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58-402  
TEL03-3513-7756 FAX 03-3513-7897  
URL <http://www.marubishi.com>



頑張るあなたに健康サポート

★適応症

- ・肩こりの緩解
- ・マッサージ効果
- ・麻痺した筋肉の萎縮の予防

★特徴

- ・温熱導子で暖めながら2箇所同時に治療
- ・ガイダンス機能で簡単操作
- ・マイコン内蔵により、肩、ひざ、腰、背、腕・脚、足底、背・腰、棒型のプログラム治療ができます。



**お見積り無料  
初期費用無料**

明治安田生命グループ

**MBS**

口座振替  
サービスを提供

口座振替は明治安田生命グループのMBSにお任せください  
**明治安田収納ビジネスサービス株式会社 (MBS)**

本社：東京都江東区東陽2-2-20 東陽駅前ビル10F  
大阪営業部：大阪府大阪市中央区南本町1-7-15 明治安田生命堺筋本町ビル8F  
お問い合わせ：03-3615-3121 営業時間：平日10:00~15:00

<http://www.mbskk.co.jp>



営業マン  
うちのWebサイト、元気かな…？



- システムは最新になっていますか？
- セキュリティ対策をしていますか？
- 有事の際に、対応はできますか？
- 頼れる顧問先はありますか？

\ あなたの Web サイトを元気にします！ /

安心してチャレンジできる Web サイト環境を作る



QRコードから文面をコピーして、  
社内担当者様にご案内ください

<https://tarosky.co.jp/>

※QRコードの読み取りは、ご使用のアプリの  
設定などをご確認ください。



見積  
査定  
¥0

# 省エネ設備改善!!

テニススクールの設備改善は当社にお任せください。



LEDの照度設計・施工

水銀灯の入替え工事や古くなり照度が落ちた  
LED照明を明るくする再照度設計を致します。



空調設備の施工・修理

空調設備の入替え工事や修理を受け賜ります。  
また、補助金を活用したご提案も行っております。



コートの熱対策

テニスコートの天井に遮熱シ  
ートを設置する事により、コート  
内の温度を下げ電気代を削  
減する事が出来ます。

御見積りのご相談などお気軽にお問合せください。



株式会社FIT 担当: 高橋 秀徳

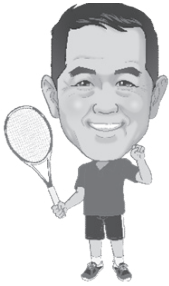
Tel/Fax.06-6350-0784

〒532-0002 大阪市淀川区東三国1丁目3番4号  
Mobile. 070-8702-7392  
mail. takahashi.h@fit-d.link  
<https://www.fit-d.link>





発明者山梨は  
コミット



地域1番の上達が速いと評判のクラブになります。

- ★待ち時間に練習、評判のクラブに
- ★人気アップで生徒レベルもアップ
- ★レッスンをすぐに家のテニスコートで復習
- ★ストローク、サーブ&ボレーもできる
- ★駐車1台分で何時でも何処でもテニス

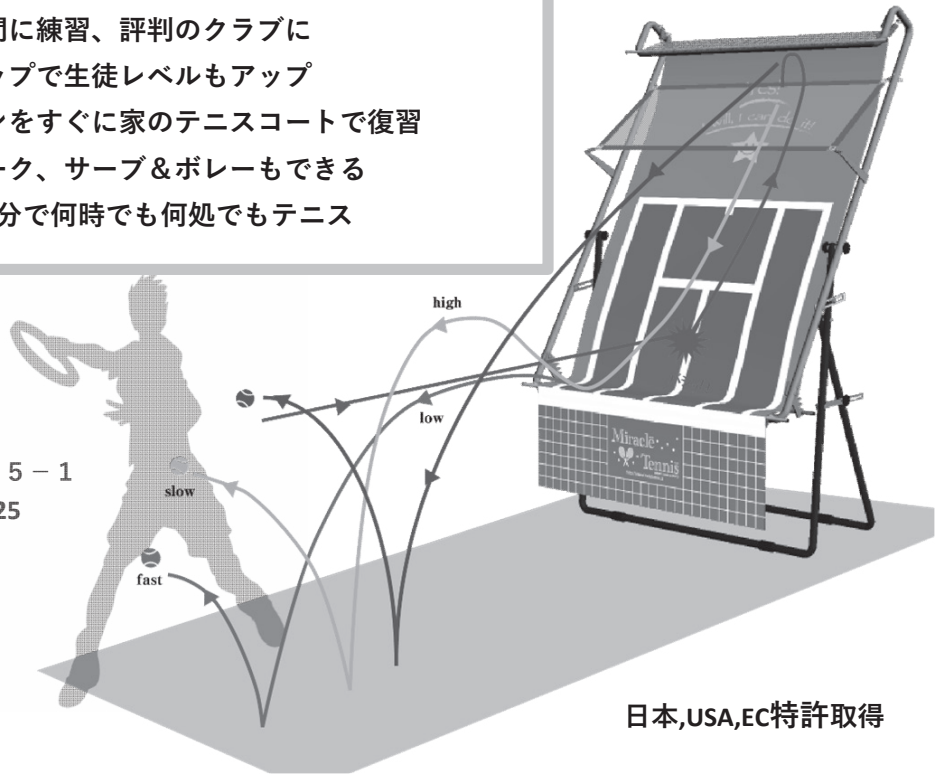
ミラクル株式会社

426-0223 静岡県藤枝市清里2丁目25-1

TEL054-631-4214 FAX054-631-4225

infomiracletennis.jp

ミラクルテニスへのアクセス



日本,USA,EC特許取得

# 匠人達が 如何なることにも 完全対応

<http://lhokuetsup.co.jp/>



ホクエツ印刷株式会社

〒135-0033

東京都江東区深川2-26-7 北越ビル

TEL: 03-5245-8821 FAX: 03-5245-8828



# 「トップ100」へのパスウェイをつくる 日本テニス 強化、育成、普及の現状

公益財団法人日本テニス協会 強化育成本部長 土橋 登志久

2020東京オリンピックでのメダル獲得は、強化・育成における近年の大きな目標の一つだった。結果的にメダルには到達しなかったが、11名の選手が出場を果たしたこと、また、選手たちが様々なパスウェイを経て出場の権利をつかんだことは大きな成果だった。

世界の現状を見れば、男女ともに若い選手が活躍し、時代の変化を感じる。なかでも欧州で有望な若手が多く育ち、男子では19歳のカルロス・アルカラス（スペイン）、21歳のヤニック・シナー（イタリア）らの台頭が目立つ。女子では、大坂なおみを含む数名の若手が次々とグランドスラムタイトルを手にしたが、安定した成績を残す選手はなかなか現れなかった。だが今は、世界ランク1位となった21歳のイガ・シフィオンテク（ポーランド）がリーダーの地位を固めつつある。

一方、アジアの選手は2年以上に及んだコロナ禍に翻弄された。各国で厳しい規制があって国際大会は開催中止が続き、帰国時の自己隔離など海外渡航にも不自由があった。そのため、思い通りの活動は難しく、世界ランキングが停滞した選手も少なくない。

こうした現状をにらみつつ、日本テニス協会（以下、本協会）強化育成本部は選手が世界に出ていくための仕組み作りに取り組んでいる。それが中長期育成プラン2022 - 2032「富士山プロジェクト」だ。

強化育成本部がまず目指すのは、世界ランク100位に入る選手を育てることだ。グランドスラムに常時出場するトップ100選手なら、個人コーチやトレーナーをつける経済的余裕も生まれ、自立して活動できる。そこで我々は、トップ100を目指す若手やジュニアの強化に注力する。そうして「Top100パスウェイの確立」、つまり、トップ選手へのルートづくりを果たしたい。

そこで、従来のナショナルメンバーの構成を見直し、現在は「ネクストジェンチーム」を選出（2022年度は綿貫陽介、望月慎太郎、島袋将、本玉真唯、内島萌夏ほか）、世界100位を目指して重点的に強化している。この層を強化し、継続的にトップ100に選手を送り込むことが当面の目標になる。さらに、その先の展望として、錦織圭や大坂に続くスーパースターを2032年までに送り出す「ビジョン2032」を構想している。

パスウェイづくりの具体的な方策に、下部ツアーの国際大会の充実が挙げられる。近年、多くのトップ選手を輩出するイタリアでは、男子のATPチャレンジャーが年間28大会開催されている。日本は現状で4大会だ。すぐには追いつ

けないが、いずれ2桁には増やしたい。2022年秋にはチャレンジャー4大会を開催したが、まずは別の時期にもう一つ、こうしたシリーズをつくりたい。

女子では、伊達公子さんや杉山愛さんらの「Japan Women's Tennis Top50 Club」を中心に、登竜門となる賞金総額1万5000ドルのITF大会の創設（現状では国内に同グレードの大会はない）を計画している。若手の実戦機会を増やすとともに、ワイルドカード（主催者推薦）やジュニア枠を活用してジュニアを一般のITF大会に挑戦させるのが狙いだ。ここにつなげるためのITFジュニア大会はすでに複数、創設されている。こうしてジュニアとネクストジェンの強化の連係を強固にしていきたい。幸い、都道府県協会をはじめとする地域の方々や各大学などの協力も得て、下部ツアー大会は徐々に充実してきた。

2023年にはデビスカップ代表に添田豪新監督、ビ





リー・ジーン・キング・カップ代表に杉山愛新監督を迎える。国別対抗戦や個人戦で素晴らしい経験を持つ方々の中から、今回はこの二人にお願いすることになった。今後、ナショナルチームのコーチ陣は将来のトップ選手を育てることに注力し、国別対抗戦の監督は代表チームをまとめ、結果を出すことに集中していく。この分業制は、私がJOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）のスポーツ指導者海外研修事業で派遣されたフランスにならったものだ。新監督の二人には、プロフェッショナルとして、ナショナルチームと連携し、2期4年間の契約で結果を出すということに挑戦していただく。

育成・強化の土台となる普及、発掘にも触れておきたい。少子化と言われる中、低年齢でテニスに出会う機会を増やすために、本協会は「TENNIS PLAY+STAY」に加え「テニピン」の浸透に力を入れている。小学校の体育の授業からスタートしたが、今後はテニススクールなどにも広めたい。母数が増えることから競争が生まれ、世界に通じる選手が育っていくことを期待している。

発掘の重要性はJOCやJSC（日本スポーツ振興センター）の研修でも指摘されている。本協会では2019年から（コロナ禍の2年間を除き）、「Road to NTC」として各都道府県から選抜された小学生を招待し、味の素ナショナルトレーニングセンターの見学、トップ選手の合宿の見学、フィジカルテストや座学などの研修を行った。今後は地域の合同合宿などの機会も生かし、戦略的に発掘事業を進めることができると考えている。



また、ジュニアの育成に関連して、「チャンピオン教育」として、トップ選手にふさわしい人間性を養うための学びの場を設けている。技術・戦術に限らず、ツアーの仕組みから栄養、睡眠、暑熱対策、あるいは立ち居振る舞いに至るまで、低年齢から学ぶ場をつくることは我々の使命だと考える。

富士山プロジェクトは、大きく広がった裾野から多くの若者が様々なルートで頂点を目指すための環境を整備する、壮大なプランだ。強化育成本部だけ、あるいは日本テニス協会だけで成し遂げられるものではなく、本協会加盟団体など各地域の皆様との密接な関係や、日本テニス事業協会をはじめとする協力団体との連携が不可欠と考えている。是非とも皆様のご協力を仰ぎたい。

（※中長期育成プラン2022-2032「富士山プロジェクト」については日本テニス協会公式サイトも参照していただきたい）



# データから見る日本テニスの未来

公益財団法人日本テニス協会 常務理事  
慶應義塾大学 准教授 坂井 利彰

この度は、公益社団法人日本テニス事業協会 30 周年、誠におめでとうございます。日頃より、日本テニス界における普及・育成・強化を支えてくださっている関係者の皆様に心より深く御礼申し上げます。

日本のテニス界は、松岡修造選手が世界ランク 46 位を記録してからは、錦織圭選手が出てくるまで、長い間世界トップ 100 位にランクインを果たす選手が現れませんでした。しかしながら近年では添田豪、伊藤竜馬、杉田祐一、西岡良仁、ダニエル太郎、内山泰崇と世界トップ 100 入りを果たす選手が続いています。これは、ジュニア時代からの指導者の方々、金銭的な支援を継続された企業や財団などの方々、大会開催を通してポイント獲得に機会を提供された方々、すべての関係者のご尽力が結集した結果です。錦織圭選手や大坂なおみ選手のように特別な選手の出現を待つだけではなく、トップ 100 位にランクインし、プロテニスプレイヤーとして成功したと言える選手を継続的に輩出できるような仕組みを、引き続き整えていくことが重要と考えております。2022 年末におきましては、男子 ATP チャレンジャー大会が 4 週連続（横浜・兵庫・松山・四日市）で開催されたことにより、綿貫陽介、内田海智、島袋将、望月慎太郎などがキャリアハイのランキングを更新し、国内における大会運営の重要性を再確認いたしました。

## 選手のキャリアパス ウェイ明確化の重要性

継続的なプロテニス選手の輩出を目指すテニス界において、プロテニス選手になるとどのようなキャリアパスウェイが描け、経済的に自立できるかが、明確になっていないとい



う問題があります。錦織圭選手、大坂なおみ選手の活躍や収入の多さが注目される一方で、ジュニア選手や保護者を始めとする関係者の方々にとってはプロテニスプレイヤーを目指すことでどのようなキャリアが期待できるかが見えづらいというのが現状です。その不安を解消し、世界を目指す選手が増えるほど、日本テニス界の選手層は厚くなり、より良いサイクルが生まれるはずです。

そこで、プロテニスプレイヤーとしての成功のベンチマークであるランキング 100 位にランクインできる確率を求めたものを表 1 に示しました。1981 年以降生まれで 29 歳まで現役を継続した 665 人の選手のデータをもとに作成しました。例えば、19 歳までに ATP ランキング 300 位にランクインできていれば 80% 以上の確率で

表 1 年齢・ランキング別 ATP ランキング 100 位への到達確率

年齢	18		19		20		21		22	
	到達人数 総数	到達 確率	到達人数 総数	到達 確率	到達人数 総数	到達 確率	到達人数 総数	到達 確率	到達人数 総数	到達 確率
101 - 300	25	81%	67	80%	105	71%	109	61%	100	50%
	31		84		147		178		200	
301 - 500	40	66%	50	46%	40	30%	21	15%	10	7%
	61		109		135		143		148	
501 - 700	32	46%	23	24%	11	12%	7	7%	2	2%
	69		97		93		94		81	
701 - 900	19	30%	16	23%	7	10%	2	3%	2	4%
	64		71		73		67		55	
901 位以下	35	19%	8	6%	4	3%	4	4%	1	1%
	182		141		129		108		78	

100位に到達できますが、300位へのランクインが22歳まで遅れてしまうとその確率は50%まで下がります。特に、20歳以降で100位への到達確率が15%を下回る選手（表1太字）は、セカンドキャリアも含めた今後の選手活動を、一度立ち止まって考える必要があると言えるでしょう。

### ダブルスプレイヤーの可能性

シングルスランキング100位にランクインする確率が15%を下回りシングルスプレイヤーとしての限界が見えてきたプロテニス選手が、いま改めて注目すべきはダブルスであると考えています。2022年全仏オープンでは柴原瑛菜選手が混合ダブルスで優勝して注目を集めました。ダブルスに出場してグランドスラムで活躍できるという事実には大きな希望を見出すことができます。また、ダブルスに専念して世界ツアーを転戦しているマクラクラン勉選手の生涯獲得賞金額は1億円を超えています。彼はアメリカ大学のUCバークレーを卒業した後から日本国籍を選択した選手ですが、ジュニア時代にニュージーランドで彼を指導していた南アフリカ人のラン・ベール氏はダブルスで世界トップ50入りを果たした元選手であり、早くからマクラクラン勉選手に対してダブルスの可能性を説いていました。

シングルスに専念した選手、ダブルスに専念した選手、シングルスとダブルスを両立している選手という3つの選手タイプに分けて、最高ランキングを求めたものが表2です。まず、20歳時シングルスランキングが100位以内の選手は、その後のシングルス最高ランキングの中央値が9位になります。これは18歳で100位入りした錦織圭選手のようなタイプで、半数以上の選手がその後トップ10入りするという特別な選手のグループです。私自身も、大学を卒業した後にプロ選手として世界ツアーを転戦して痛感しましたが、錦織圭選手や大坂なおみ選手のように、10代半ばから世界トップジュニアとして様々な支援を受けながらエリート街道を走り、世界トッププロに駆け上がっていく選手たちとの差は埋めがたいものがありました。

シングルスでは早熟な選手が圧倒的に優位であるという現状に対し、ダブルスは様相が異なります。ダブルスは、ダブルスに専念するだけで、ダブルスランキングを

表2 20歳時シングルスランキング・選手タイプ別の最高ランキング

20歳時シングルス ランキング	選手タイプ	人数	シングルス 最高ランキング	ダブルス 最高ランキング
100位以内	シングルス	72	<b>9</b>	62
101 - 300位	ダブルス	12	171	<b>8</b>
	両立	60	160	104
	シングルス	167	<b>65</b>	133
301 - 500位	ダブルス	15	279	<b>29</b>
	両立	144	275	213
	シングルス	143	<b>184</b>	285
501 - 700位	ダブルス	21	503	<b>57</b>
	両立	166	373	292
	シングルス	85	<b>219</b>	317
701 - 900位	ダブルス	26	650	<b>95</b>
	両立	119	435	321
	シングルス	47	<b>277</b>	412

100位にランクインさせることが可能になるのです。例えば、20歳時シングルスランキングが301 - 500位の選手は、シングルスに専念し続ければシングルス最高ランキングが184位であるのに対して、ダブルスに専念することでダブルス最高ランキングを29位まで上昇させることができます。そして20歳時シングルスランキングが701-900位の選手であっても、ダブルス100位にランクインしてグランドスラムに出場することができます。そしてダブルスでより高いランキングを獲得することは、シングルスで低迷するよりもずっと多くの獲得賞金を得ることができるのです。

20歳時シングルスランキングが100位以内の選手が、全員シングルス選手であることからわかるように、プロテニス選手はシングルスでの成功を目指して選手生活を開始します。しかしながらシングルスのトップ選手となることは、極めて狭き門であり、早熟で特別な選手に独占されているといっても過言ではありません。20歳頃に、選手としてどのようなキャリアパスウェイを描くのか、選手と指導者は現状を踏まえた上で真剣に考えた上で、早い段階でダブルス選手に転向するという決断をすれば、シングルスプレイヤーとしての可能性は閉ざされる一方で、ダブルスプレイヤーとしての成功が高確率で期待できるのです。シングルスでの成功にこだわる選手、ダブルスに転向する選手といった、多様な選手の育成は、プロテニス選手育成の確度を高め、選手層の厚みをもたらすことで、日本テニス界の発展に寄与する重要な視点であると考えています。



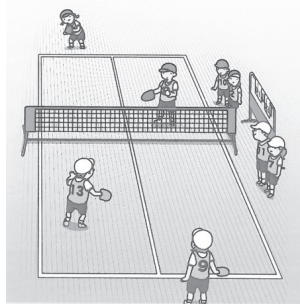
# 「テニピン」でテニスのミライを創造する

公益財団法人日本テニス協会 普及推進本部 副本部長  
山梨学院短期大学 准教授 今井 茂樹

## 1. はじめに

このたびは、公益社団法人日本テニス事業協会様が30周年を迎えられた特別な機会に、このような場をいただきまして、誠にありがとうございます。

私が日本テニス事業協会様とかかわりを持たせていただいたきっかけは、2018年の春先に遡ります。当時、



2017年の小学校学習指導要領が改訂され、初めて、「バドミントンやテニスを基にした易しい（簡易化された）ゲーム」という文言が加わりました。つまり、小学校体育において、これまでできなかった、テニスの授業をやってもいいよ、という国家レベルでの告示となりました。

私は、小学校教員時代に18年に渡り、テニスの授業（テニピン）について実践研究をしていたため、その成果と課題について、新堀丘様、金田彰様、加藤潤様にプレゼンをさせていただきました。皆様に、テニピンの価値を認めていただき、大きな勇気をいただいたことを昨日のように覚えています。そして、その後、2019年の2月に足立区の東綾瀬小学校でモデル授業をする機会を作っていただきました。テニピンが、私の勤務校だった東京学芸大学附属小金井小学校以外で実践された、初めての機会となりました。このような出会いがなければ、現在のテニピンの普及活動はないといっても過言ではありません。

日本テニス協会と連携しながらテニピンの普及活動を行うようになってからも、日本テニス事業協会様には、テニピンの普及活動にご理解・ご協力をいただき、大変感謝しております。

## 2. ネガティブからのスタート

テニピンは、日本テニス界から、異端とされていたようです。なぜならば、小学校にテニピンを普及させていこうとなった際、全国のテニス関係者から、「なぜテニピンなのか?」「JTAはPLAY&STAY（以下、P&S）を推進しているのであれば、P&Sを小学校にも

推進していけばよいのではないか」「ようやくP&Sが定着してきたのに、また新しいことをするのか」「ラケットを持たないものはテニスではない」といったネガティブな意見が多かったことが物語っています。



このような中、松岡修造さんが、私のテニピンの授業を参観に来られました。授業の中で子どもたちがプレーする様子を観ていただき、その後、1時間近く、懇談の場をもちました。修造さんの言葉からは、私のテニピン授業についてポジティブに捉えてくださっているように感じました。しかしながら、後日、JTA関係者から、修造さんの反応は「テニピンはテニスなのか」「ラケットを持たせて、なぜできないのか」といった反応だったとお聞きしました。このことは、テニスマガジンの修造さんのコラムのなかでも示されています。

こうした経験は、全国のテニス関係者や修造さんに、テニピンの価値をどのように示していくのかという大きな課題解決を目指す、エビデンスづくりの源となりました。



### 3. エビデンスが示すテニピンの価値づけ

まずは、小学校体育授業の現状、すなわち、運動が得意な子ども苦手な子どもクラスには多様な子どもたちがいて、その子どもたち40名を担当が一人（体育を専門とする教員は少数という現状）で対応するという小学校教育の現状をお伝えすることから始めました。そして、私自身もミニラケットを持たせ、10年以上、テニスの授業を実践してきて、上手いかなかったことや課題について、丁寧に説明しました。そのうえで、テニピンが小学校体育で実践可能であり、ラケット操作向上にも有用であることを示すため、実践研究も同時に行いました。

具体的には、3年生でテニピンを経験したクラス（1組）と経験していないクラス（2組）が、4年生に進級し、その2つのクラスに、ミニラケットを持たせてテニピンの授業を行いました。そして、4回返球成功率の調査を行いました。テニピンは、ペアで交互に打ちながら4回ラリーを続けて、5回目から得点になるというルールであるため、4回はラリーを続けることに努めます。よって、4回ラリーを続けようとするなかで、4回返球成功率が高まれば、ラケットを操作してのラリーが上手くなる、すなわち、ラケット操作が上手くなったということができると考えたのです。

その結果、テニピン経験あり（1組）は、1時間目37.7%、8時間目75.7%という結果になり、テニピン経験なし（2組）は、1時間目15.5%、8時間目28.8%という結果を示しました。この結果からも分かるように、テニピンを経験していれば、ラケット操作が上手くなるということをエビデンスとして示すことができます。また、子どもたちのプレー映像も録画し、その映像から、①ボールのバウンドにタイミングを合わせる「リズム感」、②どこにボールが飛んでくるのかを予測判断する「空間認知」、③打ちやすい位置に移動し、ボールを返球する「打点感覚」が養えることが明らかとなりました。

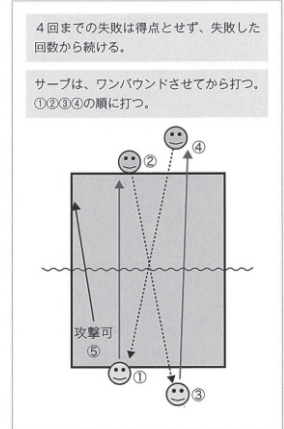
このデータと動画のエビデンスを従え、松岡修造さんのもとへ、プレゼンをしに行きました。その結果、松岡修造さんにテニピンの価値を認めていただき、NHKスポーツパーク松岡修造のテニスパークにおける、小学校教員を対象としたテニス型授業講習会開催や松岡修造さんのテニピン普及活動への全面協力へと導かれていきました。

### 4. テニピンが示すテニスの面白さの本質

一般的に、「ラケットをもたないとテニスではない」といった概念があるのではないのでしょうか。よって、「テニピンはテニスではない」「なぜラケットを持たせてできないのか」といった表現が生まれるのだと思います。

そもそもテニスの面白さの本質とはどこにあるのでしょうか。本質を探るうえで、歴史に目を向けることは欠かせない作業です。私は、テニスの原型である、中世

【第1時の成功率】 1組（経験有） 返球率 37.7% 2組（経験無） 返球率 15.5%	→	【第4時の成功率】 1組（経験有） 返球率 62.6% 2組（経験無） 返球率 20.7%	→	【第8時の成功率】 1組（経験有） 返球率 75.7% 2組（経験無） 返球率 28.8%
---	---	---	---	---



のフランスにおいて貴族間で行われていた、ジュ・ド・ポームにテニスの面白さを見出しました。

ジュ・ド・ポームでは、手の平、もしくはグローブ型のラケットを手にはめこみプレーをします。サーブは、屋根のひさしにボールを打ち上げ、落ちてきたところから、ラリーが展開され、相手から送られてきたボールを返球しながら得点を競い合います。現代テニスのように、速いサーブを打つことも、ラケットを操作することはありません。ジュ・ド・ポームの詳細には触れませんが、明らかになったことは、当時の人々は、ジュ・ド・ポームにおいて、「相手から送られてきたボールを状況判断して返球しながら、得点を競い合う」ところに面白さを見出してもプレーしていたということです。

私は、ここにテニスの面白さの本質があるのではないかと考え、子どもたちには、その面白さを伝えることを第一に考えて、実践をしています。

私は、ここにテニスの面白さの本質があるのではないかと考え、子どもたちには、その面白さを伝えることを第一に考えて、実践をしています。

### ジュ・ド・ポームからテニスへ



ギルマイスター(1993)テニスの文化史  
ラケット操作は、テニスの面白さを引き出す1つのツールであり、本質ではない

### 5. JTA としての今後のテニピン普及の方向性

まずは、小学校体育導入という普及活動の推進です。ガイドブック、書籍、授業ダイジェスト動画、ホームページ、用具など普及の動画は揃ってきています。これらの道具をどのように有効活用していくのが課題です。そして、何よりも、小学校にテニピンの良さを認知してもらうことが重要だと考えています。民間のテニススクールなどが、小学校現場に入り、テニピンを複数校導入し



## テニピンPV完成版②0212

989 回視聴・1 か月前

Japan テニスLIVE

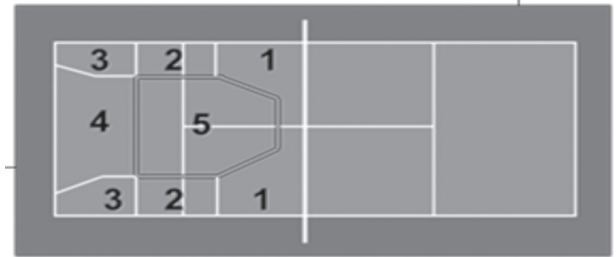
テニス #テニピン #JTAテニスオンライン-----  
-----チャンネル登録して頂けると励みになります...

ている事例もあります。こうしたモデル事例を増やし、テニス関係者と連携しながら、小学校にテニピンの授業を増やし、興味をもった子が、スクールに入る流れを加速させていくことが、テニス界への貢献にもつながると思います。また、小学校でテニピンが導入されることのメリットとして、運動能力の高い子がテニスを選択してくれる可能性が増すということです。

次に、テニスの育成・強化の視点です。テニピンでは、テニスで重要視する思考力、状況判断能力を養うことができます(※ You Tube 動画「テニピンで日本テニスのミライを創る」参照)。小さいコートに番号をふり、どこにどのようなボールを打ち得点を目指すのか、子どもたちに考えさせます。ハンドラケットで打つこと、小さいコートであることから、思考したことの実現性が高くなります。コーチングで重要なことは、レッスンの最初にこうした課題を提示し、レッスン中に一貫してその課題を意識して取り組ませ、最後に振り返る場を設定することです。そして、その反省点が次のレッスンの課題としていくことを積み重ねることで、着実に子どもたちの思考力や状況判断能力が養われていきます。テニピンはこうしたツールの一つとして、また、コーディネーションや W-up の位置づけとしてレッスンの導入に取り入れられていくことが望まれます。

日本テニス協会としては、上述したように、小学校展開への普及及び、テニススクールやクラブにおける育成・強化の視点を強調して、テニスのミライを創造するというスローガンのもと、テニピン普及推進に努めて参ります。

## どんな状況判断や組み立て方ができるかな？



## 6. おわりに

冒頭に示したように、新堀丘様、金田彰様、加藤潤様にプレゼンをさせていただき、テニピンの価値を認めていただけたことは私にとって、大きな財産となり、自信をもってテニピンの魅力を伝える原動力となっています。そして、日本テニス事業協会の皆様が「テニスの面白さを子どもたちに伝えたい」「日本をテニスの国に」という思いをもって活動されているからこそ、テニピンに共感していただいているのだと感じています。

同じ志をもちながら、今後も子どもたちにテニスの面白さを伝えることを通して、テニス界に貢献していきたいと強く思っています。

今後とも、テニピン普及活動へのご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。





# 今後のテニスビジネスについて

学校法人 五大 (GODAIグループ)

経営企画部 満岡 英生

このたびは、公益社団法人日本テニス事業協会の30周年を迎えられた事、心よりお慶び申し上げます。

私はテニスプロデューサー資格の講師を拝命し、まだ数年という若輩者のため理解が及びませんが、日本経済の盛衰と共に歩まれた30年という長い歴史は計り知れないものと感じます。

今回の「今後のテニスビジネスについて」という大きなテーマに対して、どのようなお話をすべきか正直、大変悩みました。

幸いにして、たくさんの方と様々な方々と取り組んできた経験が多かったことが、このような機会を頂けたのだと考え、お引き受けする事といたしました。そのような私ですので、今回の内容についても、あくまで、個人の一意見であり、ご参考程度に捉えて頂けたら幸いです。※一部、私自身で作った造語もあり、一般的な表現ではないことも予め、ご承知おきください。

「テニスビジネス」といっても、とても深く広い範囲となるため、ここでは、

1. この30年で起きてきたこと
  2. 今後、起こりうるだろう変化
  3. テニス界に対する提言
- という流れに沿って、お話を進めたいと思います。

## 1. この30年で起きてきたこと

日本や業界などそこまで大きな変化についてまで、触れる必要があるのかという声が聞こえてきそうですが、背景をきちんと捉える事で、今後のテニスビジネスの先行きが少しは見やすくなるのではと考え、細かく見ていきたいと思います。

1990年代バブル崩壊より、現在もまだ冷めやまない新型コロナウイルスの猛威など、この30年間はまさに激動の時代ではなかったでしょうか。そのような時代の中で下記のような重要なキーワードが良く語られてきました。

- 多様性、個性に対する考え方
- 急激な円安
- デジタル化・DX化の推進
- 少子高齢化時代への加速

- ストレス過多、保守化の傾向

どのキーワードも皆様にも日頃から耳慣れたものと思いますが、それぞれを読み解いていきたいと思えます。



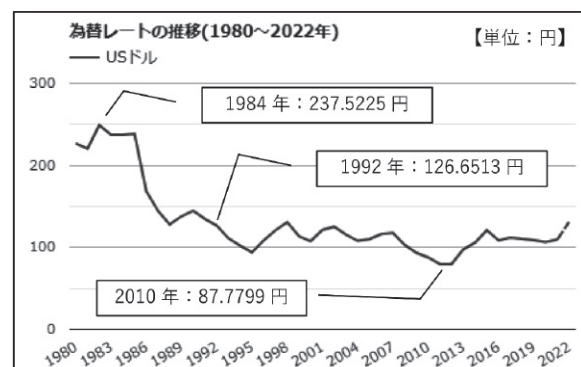
## ○多様性、個性に対する考え方

人それぞれの考え方や行動含め、個人について尊重をすべき時代になってきました。元々、その方が持っているポリシーの話ではなく、その日、どう考え、どう行動しているのかまで求められる時代になってきたのだと思います。そのため、ビジネスにおいてそれらお客様の心理をきちんと捉えることは、とても重要であり、また、その把握が難しくなっているという現状があります。

## ○急激な円安

ここ最近、急激な円安が進んだと言われています。確かに、1984年の237円台から2010年には87円台の時代もありました。ですが、日本テニス事業協会が創設された、まさに30年前の1992年の時代でも126円台の状態でした。

細かいお話はプロの方に譲りますが、ここで私がお伝



※出典元：世界経済のネタ帳「USドル/円の為替レートの推移(1980~2022年)」(数字は年間の平均レート)

えしたいのは、この30年間の円の大きな変動があっても、テニススクール&クラブビジネスは揺るいでいないという事実です。

### ○デジタル化・DX化の推進

スマホの普及もさることながら、オンライン会議など、効果、効率を求めるシステムがここ数年で一気に導入が進みました。経営環境が厳しくなってきたことも、これら移行への促進が促された一つの要因であったのではと思いますが、デジタル化・DX化が必要な対象は、あくまで作業的な業務であり、思考的かつ柔軟な対応が必要な業務については、AIが進んだとして、一気に変わっていくことは難しいと考えています。逆に、テニスコーチなどの思考的業務は益々、価値が高まる業種になっていくのではないのでしょうか。

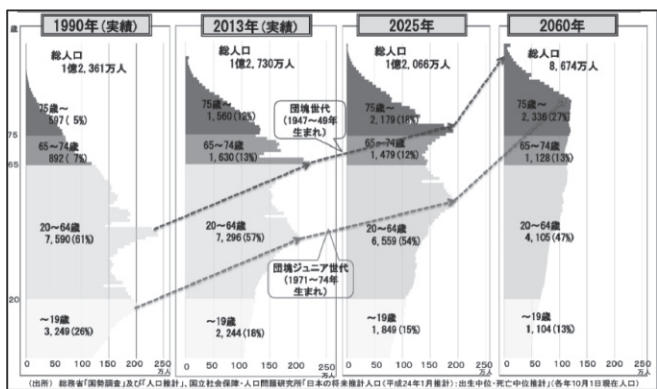
### ○少子高齢化時代への加速

高齢者が増え、子供たちが減少している状況ではありますが、単純に「高齢者（大人数）＝大きな市場」「子供たち（少人数）＝小さな市場」と捉えるべきではなく、色々な視点でこの市場については捉えた方がいいと考えております。

例えば、市場規模だけでなく「価値（お支払い頂けるお金）」の視点を加えると、もしかしたら「高齢者（多数）×小単価」「子供（少数）×高単価」という捉え方ができるかもしれません。

その際、それぞれの市場に対するアプローチ方法は全く変える必要があるということも忘れてはいけない点です。

そして、今後、この「子供の市場」は熾烈な競争を極める世界に突入していくことが見えており、前にも述べましたが、保護者の方々は、どのサービスにお金を払うべきかを益々、厳しく吟味してくると思います。



### ○ストレス過多、保守化の傾向

新型コロナウイルスの影響で、人とのつながりは薄く、細くなってきており、コミュニケーションにおいても、警戒や牽制から始まってしまうことが雰囲気最近、多

く感じます。これらの環境変化が、人々のストレスを蓄積させ、益々、人とのコミュニケーションを避け、いかに現状を維持させるかという「守りの姿勢」を増長させてしまっている面があると思います。一方、これらの反動で、アナログコミュニケーションに対する飢餓感も高まっており、人との触れあいに一歩踏み出すことができれば、これらの環境変化が逆に大きく変わる可能性も秘めている気もしております。

この状況はお客様においても同様で、先が見えない中、新しい事（余暇など）をする機運が低下し、財布の紐はより固くなり、お金の使い道（投資先）についての選定眼も厳しくなっていると思われます。この影響で、テニスビジネスにおいてもこれまでと同じサービス提供では、お客様は振り向いて貰えなくなる可能性が高く、企業としても常に新しい取り組みを模索し続けなくてはならないという状況になっていきます。

### 2. 今後、起こりうるだろう変化

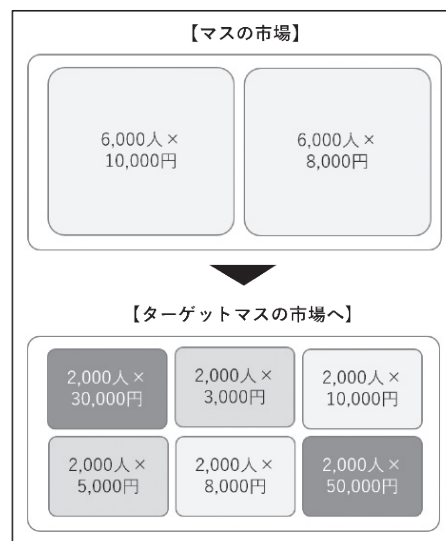
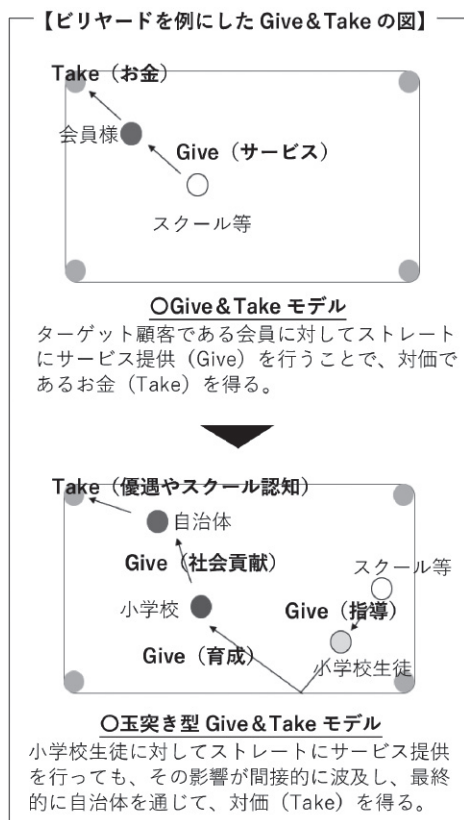
世の中が様々に変化してきている中、テニスビジネスの世界はどのように変わっていくのでしょうか。これだけ複雑化している時代の先を読み解くのは正直とても難しいのですが、このように変化していくのではないかと、考えをお伝えしたいと思います。

### ○ビジネススキーム（仕組みや構造）が単純から複雑化へ

私はビジネスの基本は常に「Give & Take」であり、昨今このビジネススキーム（構造）がとても複雑化してきていると感じます。テニススクールビジネスをモデルに説明をしますと、サービス（Give：接客、施設利用、レッスン等）を提供し、その対価として、お金（Take：レッスン料）を頂く、これがテニススクールにおける基本ビジネススキームです。シンプルで「Give & Take」の分かりやすい仕組みと言えます。

この仕組みが今後は、「玉突き型 Give & Take」に変化していく、または、すでに変化していると思います。言葉にすると分かりにくいと思うので、ビリヤードを例に図示（下図）いたしますが、目の前の人や企業に「Give」しても、その方から直接「Take」はなく、回り回って違う人や企業から「Take」がやってくるということです。しかも、すぐに「Take」が来るとは限らないところが、難しい点です。

もう少し分かりやすく事例を交えて説明いたします。例えば、近隣の小学校にテニピン（小学校の体育への導入が進んでいるテニス型授業）を無償で指導提供をしたとします。その時点では、テニススクール→小学校への「Give」のみとなりますが、その取り組みをみた自治体が、地域貢献とみて、何かしらの中長期的に優遇策を講じていただく可能性が高まったり、小学校の保護者は、それをきっかけにテニススクールを知り、スクールに通



向が集まった中規模集団 (ターゲットマス) でのマーケティング活動になっていくのではと考えています。

そして、そのターゲットマスをきちんと把握し、その方たちに適したサービス (Give) ができれば、高単価なビジネスをもたらす可能性があると思います。そういう意味で、それらのターゲットマス自身はどこにあるのか？それらが持つ顕在的&潜在的ニーズは何か？

彼ら、彼女らは何を提供して欲しいと思っているのか？これらを把握できた企業が、大きな利益を得られるのではないのでしょうか。そして、ターゲットマスに合わせた新しい「レッスン」「接客」なども今後求められていくと思われます。

### ○お客様は何にお金を払って頂いているのか？

上記のように、ターゲットマスにおけるお客様の求めているサービスは何かをきちんと把握することが大事です。背景でもお伝えをしましたように、お客様の財布の紐は固くなり、一つ一つの行動に対して慎重になっています。また、飢えているとはいえ、アナログコミュニケーションに一步踏み出すきっかけがないことも、慎重な行動になってしまっていることの一つの要因でもあると思います。

テニスは、これまで「衣食住」といわれる基本投資先(お金の利用目的)の外のお金と捉えられていました。いわゆる「余暇」という分野です。その為、お客様が「衣食住」に支払うお金で精いっぱいだと、この余暇に対してのお金を支払って頂くことは難しくなってしまいます。これからのテニスビジネスは、その為、この「衣食住」のグループの外や次の投資先ではなく、このグループ自身の中に入り込む必要があるわけです。

テニスは、そういう点ではとてもアドバンテージがあると思います。益々「ストレス過多」になっていく時代、「汗を流す」「体を動かす」というスポーツ全般のメリット以外に「コミュニケーション」「コミュニティ形成」「周

い始めたり (この場合は子供たちを集客するための販促コストも削減できる可能性があります) するという構図です。

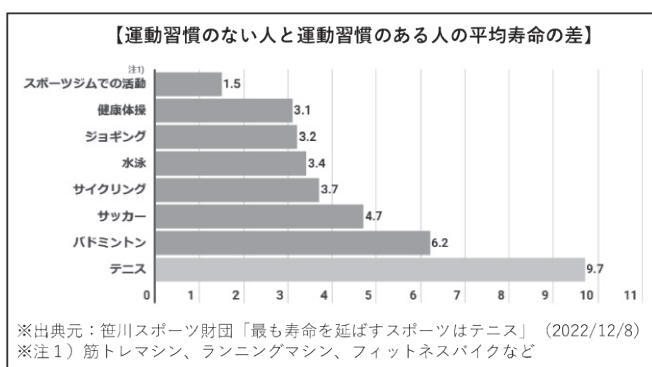
人や企業は、提供 (Give) したら、すぐに、そして目に見える形で利益 (Take) を求めますが、主軸であるこれまでの Give & Take モデルとともに、今後はこのように複雑な仕組みも絡めて、長く安定したビジネスの仕組みも獲得する必要があると読んでいます。

新規ビジネスに取り組む際、もしくは既存ビジネスを見直す際に、レッスンや接客なども含め、全てにおいて、一度、どなたにサービスを提供し、最終的にどのような形で利益を得ているのかを図式化し、分析することをお勧めします。その分析が今後どのようなビジネスに取り組むべきか、何をアップデートすべきかのヒントにもなり、意外と既存事業を支えている見えないビジネスが見えてくるかもしれません。

### ○「マス (大集団)」から「ターゲットマス (中集団)」へ

今後、マーケティングについても考え方を変えていく必要が出てきているのではと感じています。多様化と個性を尊重する時代になり、数十年前の大量生産、大量販売、大量消費の時代から、その人に合った商品とサービス提供が求められる時代になってきています。それでは果たしてマスマーケティング (大規模集団をターゲットとして捉えたビジネス) の考え方が消滅してしまったのでしょうか？

今後は、大きな集団 (マス) ではなく、ある一定の志



期性（毎週、毎月など）」というまさに、テニススクールの強みとなっているメンタル面の課題における解決手段を持っているスポーツビジネスだからです。また、健康寿命が9.7年延びるというデータもあり、高齢層に向けた潜在的ビジネスのニーズも秘めており、先が明るい要素を多く持っていると思われます。

高いアドバンテージ要素を秘めながらも、一方で考えなくてはいけないのは、これらのメリットをどのようにターゲットとするマス（集団）に伝え、情報を届けるかということです。投資の選定眼が厳しくなっているお客様に対し、適した情報、その提供タイミング、伝達手法などを綿密に考え取り組むことをまさにいま、求められているのだと思います。

### ○良いサービスには高い価格を

そして、このパートで最後にきちんとお伝えしたいのが、良いビジネスやサービスには高い価格を設定すべきということです。これまで、色々なテニススクールやテニスコーチを見てきましたが、こんなにも素晴らしく、難しい職業はないということです。また、それだけ求められる能力や経験も高い職業にもかかわらず、それに見合ったお金を頂けていないのではという点がとても気になっています。これまでのキーワードを使って補足をすると「Give > Take」の関係になっていることが多いのではということです。

テニスコーチは、技術力、指導力、体力などのフィジカルはさることながら、メンタルサポート（コミュニケーション能力）も提供しなくてはならない職業です。これまでも説明してきましたが、お客様の生活の支え（衣食住）となる存在になる可能性のあるビジネスでもありと考えられると、それらを支えるコーチに対する対価は、もっと見直してもよいのではないのでしょうか。また、一方で、それらの価値をもっと、上手にお客様にお伝えをしていく発信力と、テニスコーチ含めたテニス人財それ

ぞれが、個々のステータス（価値）を向上させる努力も必要と思います。

### 3. テニス界に対する提言

これらの予想される変化を踏まえ、今後、取るべき行動や考えについて、最後に述べて締めくくりたいと思います。

#### ○良いライバルが良い市場を創る

最後にお伝えしたいのは「競争」から「競創（競争×共創）」にテニス業界全体が変わっていくべきではないか、ということです。国内におけるテニス市場はまだまだ小さいものです。お互い争っている場合ではないというのが、率直な印象です。とはいえ、「仲良しクラブ」のような「慣れあい」もよくありません。お互いに「競い合い（切磋琢磨し）ながら、新しい市場を創る」という「競創」に向かうべきではないかと考えています。

もちろん、これまで培ったノウハウなどの無形資産を無償で公開するというのではなく、ビジネスという観点で、これらを有償で出していくことが大事ではないでしょうか。価値のあるものにはお金を出すべきという考え方はとても大事です。逆に自分では価値があるものと思っても、有償で公開し、ビジネスにならない場合も十分にありえます。価値や価格は市場が決めるもので、自分ではないことも可視化されますし、それを機に、新しい取り組みをしなくてはならないという機運が高まるかもしれません。

ポイントは、テニス界全体で、価値を向上させて、ビジネスを回す必要があるということです。そのためには、近い企業同士が、牽制し合いながら膠着するのではなく、お互いが成功事例を披露しあい、いいものは取り入れて、価値を向上させ、それに負けまいと、また努力をするというスパイラルを回すことが、今のテニス界には必要なのではないでしょうか。

「良いライバルが良い市場を創る」是非このような、素晴らしい環境を構築できる一役を担えたらと思っています。

### 4. 最後に

ここまで、拙い内容にお付き合いいただきありがとうございました。あくまで私の持論であり、一意見として参考程度で見て頂けましたら幸いです。未筆ながら、日本テニス事業協会様の一層のご発展と関係者皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# テニス事業における新しいサービス —草トーへのこだわり—

## 毎日テニスの試合を開催 / 強くなる仕組み

### 1. 事業者名

株式会社インスピリッツ

### 2. 代表者名

増田吉彦



### 3. 事業目的

「テニスの試合に勝てるようになりたい!」という課題を抱えている方のために、試合経験をたくさん積み、試合に勝てるようになっていただくために始めました。

### 4. 集客方法

自社 HP

テニスクラブ、スクール様のコーチからのご紹介

リピーター

口コミ

自社 youtube

自社以外の youtube

### 5. 活動場所

埼玉県 20 会場、千葉 4 会場、東京 1 会場

### 6. 事業を始めたきっかけ

23歳の時に『毎日試合を開催するテニスクラブ』を立ち上げました。

現在、18年目です。

「毎日テニスだけをして生きていたい」という想いから始まりました。

現在の事業を始めたきっかけになった出来事は、大学生の時に出場したある大会で対戦した方のアドバイスからでした。

当時の日本ランキングで30位くらいの選手で、その大会の第1シードの方でした。

スコアは0-6, 0-6。1ゲームも取れず、何もできずに終わりました。

かかった時間は30分くらいでしょうか。(通常は1時間~1時間30分)

試合の後、アドバイスを求めました。

僕はその試合に向けて練習を重ね、特にラリーをたくさんしていました。

これ以上、どんな練習をしたら試合に勝てるようにな

るのか、わからない状態でした。

その方からのアドバイスは、練習の仕方でも技術的なものでもありませんでした。

「もっと試合をした方がいいよ。」きよんとする僕に、言葉を続けます。

「JOP (JTA に改称) 大会には出ない方がいい。日本ランキングのポイントを獲得できる JOP 大会はレベルが高いし、エントリー費も高い。高いエントリー費を払ってすぐ負けてしまうのは、コストパフォーマンスが悪いと思わない? それならエントリー費も手ごろで何試合もできる、小規模の草トーナメント (一般向けの大会) に出たほうが良いよ。試合の中で色々試すと、上手くいくパターン、うまくいかないパターンが自然とわかるようになるから。」

このころ、市民大会の1回戦で負けていた僕がしていたのは、練習のための練習。

練習でできて試合でできなくて勝てない。

勝てるようになるために、覚悟を決めて試合に出続けました。

試合でできることを増やすために、試合の中で練習しました。

それを繰り返すうち、勝てるようになりだしたのです。

アルバイト先のテニスクラブでも強い方になり、レッスンのフィーもあがりました。

そしてついにダブルスの日本ランキングがついたのです。

確か190~200位。大学4年生になってました。

「テニスの試合に出て、出て、出て、出来なかった課題を練習して強くなる」

きっと自分と同じ悩みを抱えた人は多いのではないか?

僕ならそんな方々の力になれるのでは?

これが現在の事業を始めるきっかけになりました。

### 7. 事業の推移

2005年09月 インスピリッツテニスクラブ設立 (個人事業として)

2006年01月 平日大会を本格的に開始

2007年02月 試合会場を増設し、3会場で大会を開始

2007年11月 ホームページリニューアル

2008年01月 株式会社インスピリッツ設立

2008年06月 大学や市営コートで大会を開催

2009年12月 試合で見つかった課題を克服する短期

	集中レッスン「講座」の開始
2010年07月	試合会場を増設し、5会場で大会を開始
2012年05月	ホームページのユーザー数10,000人を突破
2013年02月	試合会場を増設し、6会場で大会を開始
2017年01月	ホームページのユーザー数20,000人を突破
2018年03月	トマトインドアテニスクラブ会場開始
2018年04月	外部のコーチによる講座開始
2019年04月	JOPベテラン大会を開始
2020年01月	YouTube「インスピチャンネル」開始
2020年04月	動画添削サービス開始
2021年11月	chainカップさいたま大会を開催(chain、joint共催)
2022年01月	現在20会場で大会開催中、千葉県、東京都でも大会を開催開始
2023年04月	『テニスクラブ経営に踏み切った増田君の毎日が冒険』出版予定(大会事業立ち上げの教科書)

## 8. 事業の現状

19年目

役員：2名

社員：8名

アルバイト：20名

参加者数：月間平均4,000人～5,000人

大会開催数：月間平均400～500大会

## 9. 事業の将来

「テニスの試合」を中心に関わる方々の全ての夢、幸せが叶う会社にしてきたいと思っています。

どんなに会社が大きくなっても、個々の夢や幸せを大事にしていきたいです。

私自身が人生のどん底にいたときに救ってくれたのが、テニスの試合であり、試合を通して出会った方達でした。

「自分の人生の主人公として、人生を自分の力で切り開いていこう！」

テニスの試合で勝てるようになったことがきっかけで、自分は変わるんだということを教えてくれました。

テニスを通して出会った方々のお陰で、人とのコミュニケーションの大事さを教えていただきました。

テニスの試合に沢山出ることで、全国各地のテニス仲間と知り合うことができました。

その出会いが今の自分の人生を豊かにしています。

テニスの練習だけでは味わえない、「ドキドキ、ワクワク」

「悔しさ」「充実感」「成長」「新たな仲間との出会い」が試合にはあると思います。

まさに自分を主人公とした冒険が始まるような感じですよ。

勇気を振り絞って試合に出て、勝ったり負けたりする中で、仲間にも出会い、そこで得た情報でテニスが上達し、新たな環境で練習が出来るようになり、レベルアップしていく。

そんな試合体験をインスピリッツでして欲しいと思っています。

新たな冒険をするには、勇気が必要かもしれませんが、安心してください。

インスピのスタッフが皆さんの夢を叶えるサポートをさせていただきます。

今後のビジョンは、

テニスの試合を気軽にできる文化を作る

テニスの試合を通じて全国のテニス仲間が繋がれる場を作る

テニスの試合を中心としたテーマパークを作る

テニスの試合を通して、地域を活性化させる

テニスの試合を観る文化を作る

です。

テニスの試合を通して一人でも多くの方の夢、幸せの実現を達成していきます！



## 年間160大会の団体戦 / 仲間との一体感を、より多くの人に提供したい

### 1. 事業者名

Joint Sports (ジョイントスポーツ)

### 2. 代表者名

澤田明伸



### 3. 事業目的

テニスを事業とし、「人と人の繋がり」を創り出すこと。(Jointにその思いを込めました)

### 4. 集客方法

ホームページ、各種SNS、Webサイト、メールマガジンを初め、私自身も媒体となります。

### 5. 活動場所

1都3県を中心に、不定期に他都道府県でも開催致します。

コートの確保は各テニスクラブさんへ直接交渉の上、

予約しております。

## 6. 事業を始めたいきっかけ

趣味のテニスが高じて、11年前（2011年）に脱サラをする形で当事業をスタート致しました。

「会社を辞めてまで？ 週末起業程度にしたら？」との意見もありましたが、「悔いのない形で、とことんまでやってみよう」というのが私の答えでした。

当時、新規事業の立ち上げ～事業責任者という立場で携わっていた手前、心苦しさと名残惜しさはありましたが、約10年の会社員時代の経験と情熱で新たな世界に飛び込みました。

「テニスクラブをやるの？」、「スクールをやるの？」、テニスに関わる様々な事業がある中で、私がやりたかったことはそのどれでもなく、団体戦を開催したいというものでした。

当時既に、多くのテニスクラブさんで草トーナメントと呼ばれる大会はたくさんありましたが、団体戦という形式での大会はあまりありませんでした。

そこで、自身で開催しよう、自分が出るならこんな大会にしたい、という思いで大会を開催するところから始めました。

- 1日完結型の「1 Day 大会」
- 年間を通じて実施する「年間対抗戦」

しかし、まだSNSも黎明期だった当時、どこの誰とも知らない人間が開催する大会に人を集めるのは難儀でした。そこで数か月間、様々なコート歩き、時には不審者扱いされながらも約2000人程に声を掛け、「自分はこんな思いでこの大会をやっている、いつか遊びに来てください」と地道に活動して参りました。

このようにスタートしたJoint Sportsの大会です。初年度、身を粉にした努力があってやっと数百人の方がエントリーしてくれました。

しかし、翌年の目標は120%、その次の年も120%、と毎年120%成長を目標に掲げなんとか「10年連続達成」することが出来ましたが、日々今月のことや来年のこと、そして向こう5年、10年先の事を考えながらトライ＆エラーを繰り返しております。

参加者の方、テニスクラブの方、ご協賛企業や、この活動を支えてくれる方々、本当にたくさんの方に感謝しておりますが、数年前よりスタッフとして携わっていただくメンバーが徐々に増え、現在6名の同志がいることが何より嬉しいです。

「人と人の繋がり」を創ることを掲げて始めたこの事業、私自身がその恩恵に一番あずかれたのではないかと、思うこの10年。来年は活動拠点を海外にも広げて世界中で楽しみたいと思います。

## 7. 事業の推移：毎年120%成長

難しい時もあるかと思いますが、失敗した際には、何故失敗したのか、どうすれば次は上手くいくのか、仮説→検証→対策→リトライを納得いくまで実行します。

## 8. 事業の現状

1都3県、約10カ所のテニスクラブ様の会場をお借りして、年間160大会、約5,000名の方が大会に参加されております。

もし大会開催可能なテニスクラブさんがいれば是非ご相談ください。2面～大会開催出来ます。休館日等を利用して年に1度の開催でも構いません。

各クラブ様のご都合と発展を第一に、共に大会を創り上げていければと思います。

## 9. 事業の将来

国内のテニスマーケットが成熟期から衰退期へ移行する一方で、オンコートに立つ愛好家の熱量は、衰退どころかとても高いものがあります。

そこで、私のような小さい事業者が生き残るためには、スケールメリットを活かした画一的なサービス展開を図るのではなく、もっと一人ひとりに寄り添った仕組みやサービス、或いはコミュニティを作ること。そしてテニス業界という枠にとらわれず、今の社会やニーズに沿ったサービスや企画に落とし込むことが今後の事業発展には欠かせないことだと思います。

私のポリシーと方向性は以下3つが大きなテーマです。

「事業拡大と調和」

「テニス業界の枠からはみ出ること」

「自己成長から、利他貢献へのシフト」

足元では、収益性を確保しなければ事業の継続性が担保出来ないという事情はありますが、自己利益の追求に終始するのではなく、関わるステークホルダーの「不都合」や「不便」を解消し、笑顔を作ること。その上で共に発展していく調和的スタンスを持ちます。

また、テニス界における既存のサービス形態に固執することや、この業界だけに焦点を当てた考え方は致しません。

テニスコートという限られた制約条件（スペース・人数・単価）を前提に考えるのではなく、またテニス業界の枠に捉われず、今の社会やニーズに沿った事業・サービス展開を切り開きたいと思います。

そんな視点で、打率2割でも良いので、新しい企画や取り組みをこれからもどんどん打ち続けます。

今後も色々な方と出会い、話し合い、協力し合い、共に発展することが出来ればと思います。

手の内は直接お会いした際に打ち明けますので、是非どこかでご一緒出来る機会があれば幸いです。



## 草トーの You Tube チャンネル / 積極的なコラボ開催

### 1. 事業者名

Chain

### 2. 代表者名

村上大（むらかみすぐる）



### 3. 事業目的

テニスを文化にすること

### 4. 集客方法

主に、① LINE @ ② Instagram ③ YouTube ④ テニスペア

②～④で広く告知し、リピーターは①に貯めていく流れ

### 5. 活動場所（コートの確保をどのようにしているか）

公営コート、民営コート問わず、①～③

①自ら開拓しに行く ②ご紹介を頂く ③開催依頼がある全国各地、開催可能な場所は常にアンテナを立てている。

基本的に、空いてるコートの稼働を上げるために開催する、というスタンス。すでにそこで開催している大会を押しつけてやる、ということはありません。その方が、施設側のメリットも大きくなるという考え。

### 6. 事業を始めたきっかけ

30歳のときに脱サラし、自転車日本一周を敢行しながら考え、決めました。旅をしながらやりたい事業を考えていましたが、

- ①自分の好きなテニスに携わることができる
- ②いろんなところで仕事ができる
- ③いろんな人に出逢うことができる
- ④同じような事業をやってる人が他に少ないと思ったのも理由に挙げられます。

学生時代に自分で学生テニスサークルを創設＆運営した際も、メンバー集めのために大会やイベントを開催。そういったノウハウも活かしました。

## 7. 事業の推移

2015年…兵庫大阪を中心に大会開催

サークル対抗戦や高校生 vs 社会人の対抗戦なども実施

2016年…近畿圏&岡山開催

2018年…東京・沖縄初開催

2019年…熊本・愛知初開催

2020年…さまざまなプロ企画実施、福岡初開催

2021年…群馬・埼玉・香川・三重・山梨初開催

2022年…静岡・広島・奈良初開催

2015年は年間10大会800名ほどから、2022年は47大会3,300名（うち20大会ほどは、屋内コート2-3面で30～40名の小規模大会）

## 8. 事業の現状

2015年、兵庫県での開催に始まり、現在まで17都府県でChain Cupを開催してきました。

• 2018年1月の関東初開催

• 2019年10月のYouTubeでChain Cupの試合動画配信開始

この2つの出来事は、草トーにおける“Chain Cup”の認知度を一気に高めてくれた印象が強いです。

また、2020年にコロナ禍で開催したプロ大会”BEAT COVID-19 OPEN”に携わらせて頂いたことで、プロテニス選手との繋がりも広がり、現在はさまざまなプロ選手たちのイベントサポートもさせて頂いています。

Chain設立当初はサークル対抗戦や交流戦といった企画もありました。参加するハードルを下げ、認知度向上が狙いの1つでしたが、認知度が上がったこともあり、現在はChain Cup（大会）に絞って開催し、その中にプロイベントや他の要素を盛り込む形をとっています。

コラボ（共同）開催も積極的に行っており、Chainと同じく草トーを開催しているJoint Sports、インスピリッツテニスクラブを始め、Fleek、テニスグ！、モリタスポーツ・サービス(株)、ヨネックスなど、さまざまな企業や団体と共同開催しています。

コラボ理由はいろいろ理由はありますが、双方にメリットがあればどなたとでもさせて頂く考えです。ラブコールお待ちしております。全国どこへでも行きます。

## 9. 事業の将来（目指している姿）

するテニスから、観るテニスでの事業を作っていくこと。テニスを通じて、いろんなモノやヒトやパシヨを繋ぐこと。

また、テニス界がファンビジネス、スポーツビジネスとして成立し、Chainとしてそれを支える事業・存在価値を発揮できる力を身に付けること。





## テニス・トリプルの可能性

スクール部会部会長 蒲生 清

近年、テニスクラブやスクールでは高齢の方が多くなりましたが、体力に自信が無くなり途中でテニスが続けられなくなる方も増えております。

特にダブルスにおいて前衛の上を超えてきたボールが追いかけれず、ゲームを楽しめなくなるケースです。そこで後衛を二人にして負担を軽くする三人制の種目がスクール部会で提案されました。調べてみるとバドミントンでは既に三人制の種目が導入され、年齢別の全国大会も盛況と聞きました。

2017年6月に開催されたテニス&ゴルフ泊懇親会において、参加者で三人制テニスを色々な形式で行って見たところ、非常に楽しく今後の可能性を感じました。

その後競技方法に関して打合せを行い、2018年8月に第1回テニス・トリプルス全国大会が札幌市の平岸庭球場にて開催され、全国から24チームが参加しました。

2019年の第2回大会後は新型コロナの影響で中断しましたが、東京知事杯有明チームコンペティションを2019年、2022年と種目をテニス・トリプルスに変更し、普及活動を継続しております。またテニス・トリプルス特別委員会を設置し、今後の普及活動に関して検討を進めております。



3PLAYERS TENNIS GAME

# とりふるす

3人制 テニス THE BASIC RULES

って何だ?

●ダブルスにもう1人(リベロ)を加えた3人で行う競技です。グリーンボール(通常のイエローボールよりも柔らかなボール)を使用することで、ラリーが続き戦略的にも面白くなるのが特徴です。

●高齢者や初心者だけでなく、上級者も楽しむことができます。

●また3人の男女構成や合計年齢の設定を変えることで、多彩な楽しみ方が出来ます。

**トリプルス・競技概要** (2019.07改定)

<p>①試合はダブルスの進行と同じで、リベロを加えて3人で行う。</p> <p>②ボールはグリーンボールを使用する。</p> <p>③ポジションは3人で順番に交代する。 *ローテーション表を参照</p> <p>④リベロを特定するための目印については必須としない。</p> <p>⑤サーブ側のリベロはベースライン後方で構え、インプレー中は自由にプレイできる。ただし、サーバーと同様にフットフォールトを適用する。</p> <p>⑥レシーブ側のリベロはベースライン後方</p>	<p>構え、インプレー中は自由にプレイできる。ただし、レシーブすることは出来ない。</p> <p>⑦上記⑥のルールを守らなかった場合は無意識の妨害として1回目はポイントレット、2回目以降は失点となる。</p> <p>⑧試合前のウォーミングアップはチームごとに行う。(サーブは対戦相手と3人のローテーションで行う)</p> <p>⑨試合が終了したら、相手チームとハイタッチをする。</p> <p>⑩その他のルールは、JTAルールブックに準ずる。</p>
---	---

日本テニス事業協会作成のテニス・トリプルス専用オリジナルローテーションバンドには、ローテーション表(順番)がわかりやすく記載されています。テニス事業者対象に6個(ブルー3/ピンク3)1セットとして販売もしております。





## トリプルスとの出会い

公益財団法人 吉田記念テニス研修センター  
シニアアドバイザー 齋田 憲男

トリプルスとの出会いは、2018年8月、デスクに置かれた第1回トリプルス全国大会札幌の要項であった。何ですか？ テニスに3人制があったのですか？ 初めての出会い。

グリーンボールは、2014年5月からスタートしたシニア向けの優しいテニス“楽楽テニス”で使っていたので馴染みがあり、それが救いであった。

ダブルスにリベロが加わり3人制なのだ。

面白そう！シニアに向いているようだと思感した。

JTIA 常務理事の吉田からも、後日、グリーンボールのテニスということで私に託したと言われた。

さて、どのようにトリプルスを紹介し認知してもらおうか？

早速、楽楽テニスのサポートスタッフに声掛けし相談する。

「面白そうだと面倒くさい」と否定的なコメントもあったが、「これは、シニアに格好。面白そうですね。勧めましょう！」と心強いサポートもあり「やってみよう」と決断した。

10月15日にまずは、無料体験会を開催。その後、定期的な体験クラスとして毎回チームメンバーを替えてチョコレートなどの賞品付きで楽しんでもらい馴染んでもらった。

リベロの役割りを説明しポジションのローテーションを理解してもらったのが難儀であったが、サポートスタッフがローテーションカードを作ってくれたりして前進した。

また、サポートスタッフが中心になりダブルスを楽しんでいたレンタルコートでもトリプルスを始めると、その後は、参加者が多い時は自然にトリプルスをやると雰囲気になっていった。

その結果、徐々にトリプルスが認知され、2019年8月に第2回北海道全国大会が開催されると「北海道の全国大会を目指そう」というメンバーも現れた。

そこで、2019年9月30日にトリプルストーナメントを開催した。すると17チームが参加。さらに、2020年3月6日の第2回大会では19チーム57名が参集した。

時は、新型コロナ感染の拡大が懸念され始めたが、アウトドアのプログラムということでトリプルスのトーナメントを継続した。

2020年4月にLCT賛助会のプログラムに移管。7

月からはトリプルストーナメントを隔月開催とした。トーナメントでもトリプルスを楽しむを心がけた。しかし、容赦なく打ち込んでくるチームが参加すると楽しくないとのクレームも。全員が楽しめるのは難しいが、何とかトーナメントを継続。



2022年11月には第15回目の大会となった。

しかし、全般的には何かトリプルスにマンネリ化が見え始めて来た感もある。トーナメントの参加チームが減少してその戻りが遅くなっている。

レンタルコートでは、トリプルスが定着しているが新しい愛好者が少なくなっている。

そこで、改めてトリプルスを拡めることが今後の課題であろう。

TTCでトリプルス始めて4年が過ぎたがここまで定着化してきた背景はどこにあるのか？

若干振り返って見れば、それは一重にTTCの理念の一つにあったと言える。

Tennis for All.

スポーツの原点は、遊び

テニスを通じて人生を豊かに

TTCでは、Play+Stayより以前からスポンジボールで未就学児童にテニスを広めTennis10sを確立してジュニア育成している一方で、シニアにはTennisXpressを“楽楽テニス”に具現化することでテニスを楽しむを実践していることが大きいと思う。

だから、トリプルスについてもテニス部門のレッスンに組込むことをせず、Tennis for Allの理念のもと、トリプルスを楽しむをテニス部門外で進めたのが良かったのかなと思う。

※文中「TTC」：(公財) 吉田記念テニス研修センター



## TTC でのトリプルの取り組みと実績

公益財団法人 吉田記念テニス研修センター  
サービス事業マネージャー 碓谷 隆人

### • 体験会

- 2018年10月に認知を広げるために体験会を行なった
- 認知が広まり目的を達成した2020年3月体験会を終了した

実績 2018年10月～2020年3月 開催 15回 延べ参加者数 171人

### • トーナメント

- 2019年度にはトライアルとしてトリプルのトーナメントを実施した

実績 2019年9月30日 17チーム (16募集に対し) 51人

2020年3月6日 19チーム (16募集に対し) 57人



- 2020年度からは年間定番イベントとしてトリプルのトーナメントを実施した

実績 2020年7月～2022年11月 通算15回 (隔月開催) 延べ参加者 594人 (198チーム)

### • レンタルコート

- トリプルの練習会がイベント参加者を中心に自然発生しレンタルコートとしてご利用いただいた

実績 2018年11月～2022年12月 延べ180回 延べ利用者数 1,440人



# 選ばれるトーナメント品質。

60年以上に渡り、数多くの国内主要大会で使用されている「ダンロップ フォート」。

そして、全豪オープンを支える「ダンロップ オーストラリアン オープン」。

このダンロップを代表する2つの試合球は、トーナメントでの使用を前提に、厳格な品質管理体制で、1つひとつのボールに高い品質が作り込まれています。

そんな試合球に与えられた使命は、大会のグレードやプロ・アマに関わらず、つねに安定したパフォーマンスとフィーリングをプレーヤーに提供すること。

たった1つのボールの良し悪しが勝敗を左右するトーナメントの世界で、いつも安心してプレーに集中できる均一性を究めた試合球として、ダンロップは選ばれ、国内や海外での数多くのトーナメントを支えています。

信頼に応え続けるスタンダードな試合球  
「ダンロップ フォート」

全豪オープンを支える大会使用球  
「ダンロップ オーストラリアン オープン」



松岡修造  
ダンロップ テニスボール  
アドバイザー スタッフ

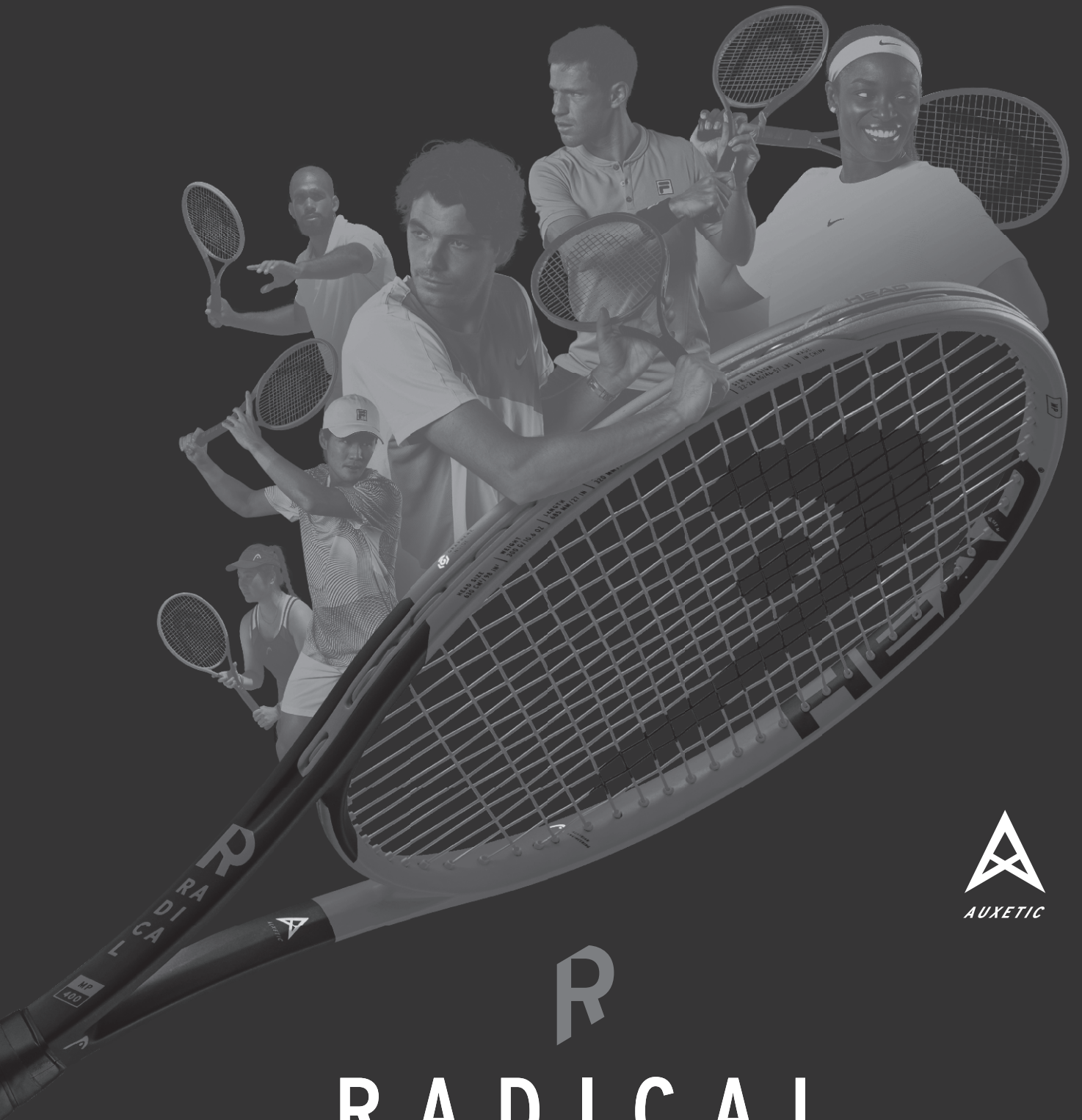
**「ダンロップ オーストラリアン オープン」が女子テニス国別対抗戦の大会使用球に採用。**

1963年に創設された女子テニス国別対抗戦「フェドカップ」が女子テニス界のレジェンドであるビルリー・ジーン・キング氏の名を冠した大会名に変更。新しい大会名は「ビルリー・ジーン・キング・カップ」。2021年、ダンロップはオフィシャルボールサプライヤーとして2年ぶりに開催された同大会のサポートを開始しました。

## SDGs達成に向けて、「ダンロップ フォート」は持ち運びやすく、CO2削減にも寄与。

「ダンロップ フォート」のパッケージに採用されているPET容器は、ボール本体を除く容器の重量が以前のスチール缶に比べて約40%軽く、1ケース(5ダース)あたりの総重量では約1.3kgの軽量化を実現しています。これにより持ち運びやすく、トラックなどによる製品輸送時のCO2削減にも寄与。ダンロップは持続可能な社会の実現に向けて、地球環境に配慮した取り組みを継続的に推進しています。





# R RADICAL

ワールドクラスの最強オールラウンダー

**HEAD**<sup>®</sup>  
.COM/RADICAL

# prince®

princetennis.jp

NEW  
STANDARD.

X

TWIST POWER  
TECHNOLOGY

REINFORCED BY  
TeXTreme X Twaron®  
The power of X-treme

ATS  
ANTI-TWIST SYSTEM



# DIADEM™

diademsports.jp

CONTROL THE COURT

# Slinger.

slingerbag.jp

あなただけの  
練習パートナー



Slinger.

REACH BEYOND



ミズノブランドアンバサダー (シューズ&ウェア契約)  
ダニエル太郎 (エイブル)



MIZUNO ENERGYと新しいアッパー構造で、  
より素早い動き出し／切り返しをサポート [サステナブルモデル]

**WAVE EXCEED Tour 5**

61GA227613 ¥16,500(本体価格 ¥15,000) SIZE:22.5~30.0



**MIZUNO TENNIS**

<https://jpn.mizuno.com/tennis> 0120-320-799

WE ARE COMMITTED TO REACH THE TOP  
**WORLD No1**



**IGA SWIATEK**  
WTA WORLD #1

**UNIQUE**



**TF** **Tecnifibre**

IGA SWIATEK PLAYS WITH

TEMPO RACKET & RAZOR CODE STRING

株式会社ラコステジャパン

Tecnifibre  
カスタマーサポート **0120-003390**

〒141-0021

東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル3F

平日 10:00~17:00 (土日・祝日および当社指定休日は除く)

ホームページのアドレス: [www.tecnifibre.jp](http://www.tecnifibre.jp)



 Babolat™



OWN YOUR SPIN

PURE AERO

TEAM BABOLAT PRO PLAYERS MAY PLAY WITH A CUSTOMIZED OR DIFFERENT MODEL THAN THE EQUIPMENT DEPICTED

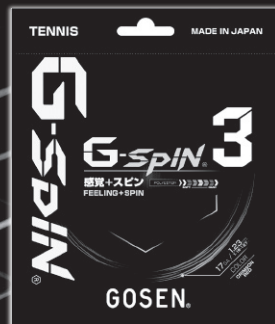
# G-SPIN<sup>®</sup> 3

NEW HEXAGONAL SHAPE TENNIS GUT RELEASE

# UNLIMITED POTENTIAL

## 己を解き放て

「勝つ」ために、  
インパクト時の「感覚」+ 制圧する「スピン」。



TS0531  
1.23mm (1.19mm~1.27mm) (17GA.)  
クリームソレッド(CR)  
ブラック(BK)



TS0530  
1.28mm (1.24mm~1.32mm) (16LGA.)  
ブラック(BK)

# GOSSEN<sup>®</sup>

株式会社ゴーセン



コンボ・シリーズ

# COMBO SERIES

2023年発売予定



# V SERIES

## 上達したい！勝ちたい！

そんなプレイヤーに向けてトアルソンから勝つためのVシリーズ始動。

イオミック ショックレス **Shockless**



New color next ?





## 【特別賛助会員】

株式会社青山財産ネットワークス  
 Gift Your Life 株式会社  
 スポーツサーフェス株式会社  
 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社  
 ダイードリンコ株式会社  
 株式会社ダンロップスポーツマーケティング  
 長永スポーツ工業株式会社  
 テニスサポートセンター  
 東京リゾート&スポーツ専門学校  
 株式会社ネスティ  
 株式会社ビーシーセンター  
 社会保険労務士法人プロジェクト  
 ヨネックス株式会社



## 【協力賛助会員】

ジャスパス株式会社  
 ジャパン・リスク・マネジメント東京株式会社  
 株式会社ダイエープロジェクト  
 東京ウェルネス株式会社  
 東京海上日動火災保険株式会社  
 ホクエツ印刷株式会社



【賛助会員】

株式会社アースカラー  
株式会社アイエス  
アシストインターナショナル株式会社  
株式会社ASURA  
アメアスポーツジャパン株式会社  
株式会社伊藤康  
岩崎電産株式会社  
株式会社小野設計  
株式会社オリコビジネス  
&コミュニケーションズ  
株式会社価値創造社  
鐘屋産業株式会社  
株式会社キモニー  
グローブライド株式会社  
株式会社ゴーセン  
ゴーツースポーツ株式会社  
株式会社GNE  
株式会社シーズコア

株式会社cielo azul  
株式会社スポーツ  
サンライズドットコム  
泉州敷物株式会社  
総合警備保障株式会社  
ターフサイクル株式会社  
大和ハウスパーキング株式会社  
タロスカイ株式会社  
株式会社テニック  
株式会社トアルソン  
株式会社東旺  
西尾レントオール株式会社  
株式会社日東社  
株式会社 NIPP O  
日本体育施設株式会社  
株式会社nobitel  
Babolat VS Japan株式会社  
株式会社 FIT  
株式会社ブラーボデザイン  
ペイント マノン  
HEAD J a p a n  
一般社団法人ポスタルくらぶ  
前日道路株式会社  
有限会社マツオホケンサービス  
株式会社マックスヒルズ  
丸菱産業株式会社  
ミズノ株式会社  
ミラクル株式会社  
明治安日収納  
ビジネスサービス株式会社  
株式会社ライフ・デポ  
株式会社ライフターゲット  
株式会社 Life Bridge  
株式会社ラコステジャパン  
有限会社リバティヒルバケーション  
株式会社両備システムズ

# 公益社団法人日本テニス事業協会 第16期 役員名簿



役職	氏名	所属
会長	大久保清一	狛江ローンテニスクラブ
副会長	増井 範男	金町テニスガーデン
副会長	栗山 雅則	株式会社クリヤマススポーツプロモーションズ
副会長	大西 雅之	ノアインドアステージ株式会社
常務理事	新堀 丘	株式会社レック興発
常務理事	金田 彰	株式会社正木企画
常務理事	吉田 好彦	公益財団法人吉田記念テニス研修センター
理事	飯田 浩一	上用賀テニスクラブ
理事	井澤 義治	テニスアリーナガーデン
理事	岡嶋 武	大島フラワーテニスガーデン
理事	岡本 利治	株式会社ルネサンス
理事	加藤 潤	公益社団法人日本テニス事業協会
理事	金子 太郎	テニスクラブ大井ファミリー
理事	蒲生 清	インドアテニスセンター ウイング
理事	杉山 利昌	ジュエインドアテニス
理事	諏澤 誠治	株式会社ITC
理事	千賀 邦二	竜美丘テニスクラブ
理事	長南 雅之	高木工業株式会社
理事	戸谷 晋也	株式会社テニスラウンジ
理事	中間 亮	ジュンレオ

役職	氏名	所属
理事	中山 和義	緑ヶ丘テニスガーデン
理事	長谷川 信	長永スポーツ工業株式会社
理事	濱中 豊治	シンポウテニスリゾート
理事	松岡 修造	プロテニスプレーヤー
理事	水崎 由美	LeiHau' oli
理事	村尾 孝之	株式会社サンリバー
理事	八木 優幸	株式会社青山財産ネットワークス
理事	横山 和也	コスモテニスカレッジ
理事	吉野 泰弘	Tennis ZONE Hesaka
監事	高山 義雄	公認会計士・税理士
監事	守屋 達雄	社会保険労務士
監事	矢沢 直樹	ジップテニスアリーナ
顧問	石原 伸晃	前衆議院議員
顧問	小野寺五典	衆議院議員
理事待遇	野田 照彦	クラブ部会長/善福寺公園テニスクラブ
理事待遇	市辺 拓也	マネージャー部会長/ノアインドアステージ株式会社
理事待遇	椎名 史人	コーチ部会長/株式会社クリヤマススポーツプロモーションズ
理事待遇	金子健一郎	テニスの日担当/コスモテニスカレッジ

## 編集後記

皆様こんにちは！

この度JTIA News 30周年記念号を発行するにあたり、ご協賛いただきました皆様、ご寄稿いただきました皆様、そしてインタビューに協力いただきました内藤昇様本当にありがとうございました。またこのJTIA Newsの編集を支えていただいている事務局の皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。

25周年記念誌の中でも述べさせていただきましたが、少子化・高齢化が世界1のペースで進んでいるこの日本において、テニスというスポーツを通じて生き活きとした社会づくりに貢献していくという意識と行動が更に求められていると思います。またこのことは世界のテニス界にとっても大きなインパクトを与える可能性があると考えます。Tennis Play&Stayをより柔軟な発想で活用し、例えば軟式テニスの力もお借りしたり、テニストリプルスを活用したりしながら、テニスという大きな枠でとらえ、国民がテニスを通じて健康でいられるような取り組みを増やしていきましょう。

広報委員会としては微力ではございますが、今後とも情報の収集と発信活動の充実を目指してまいります。引き続き皆様からの温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、会員の皆様と共に(公社)日本テニス事業協会が益々発展していくことをお祈り申し上げます。

## JTIA News! 2023.2 Vol.93

発行:公益社団法人日本テニス事業協会

発行日:2023年2月21日

発行責任:大久保 清一

編集責任:吉田 好彦(広報委員長)

発行所:公益社団法人日本テニス事業協会

TEL.03-5577-7361

FAX.03-5577-7362

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町1丁目

10番1号 サクラビル4階

<http://jtia-tennis.com>

[mails@jtia-tennis.com](mailto:mails@jtia-tennis.com)

## 施設にとって最適な運営・管理をおこなえます

SAはキャッシュレス支払いに対応

テニススクール業界  
シェア

No. **1**

### いつでも最新バージョン。

どこからでも使え、しかも低料金。

24時間、365日ご利用になれます。必要なのはインターネット接続可能なパソコンかスマホのみです。

### 様々なイベントに対応します。

不定期で開催するスクールイベント/クラブイベントを管理できます。イベントの詳しい情報を設定し、申込みされた会員とのコミュニケーションを図るツールとしても最適です。

### 入金や会費の管理が可能！

(自動引落やクレジット払いに対応しています)

追加レッスンや、コース変更で発生する差額料金、当日予約料金、当日キャンセル料金等に対応できるので入会金、会費以外にも対応しています。

### 予約、キャンセル、振替等の操作が簡単。

受付ミスなどを防ぐことができます。

スクールのルールに合わせて予約振替操作が、簡単かつスピーディーに行え、効率よいスクール運営を実現させます。

### サポートも充実！

当社サポートスタッフによるバックアップ体制でバッチリ！



### スマートフォンからも簡単アクセス！！

スクール会員様はいつでもスマホからレッスンの欠席連絡や予約振替等が簡単に行えます。

日・英語対応。

デモンストレーション(無料お試し)を随時おこなっております。

お問合せ

機能に関するご不明な点等ありましたら、当社営業担当までお問い合わせください。ServiceAce®は、株式会社ビーシーセンターの登録商標です。

TEL: 03-3209-6111(代) FAX: 047-703-1705 E-mail: info@bccenter.co.jp

# ニューボール プライズ!

新しいテニス、始まる。



New

ITF Approved

APPROVED BY J.T.A. ※JTAの公認はTOUR PLATINUMのみ

## YONEX TENNIS BALL

TOUR PLATINUMは(公財)日本テニス協会主催7大会の使用球  
全日本ジュニアテニス選手権、全国小学生テニス選手権、全国ジュニアテニストーナメント ほか

©ヨネックス株式会社 ※2022年12月現在



far beyond ordinary